

平成 29 年度（平成 28 年度対象）

教育に関する事務の管理及び執行の状況
の点検及び評価の報告書

平成 29 年 8 月

音更町教育委員会

目 次

はじめに

1 点検及び評価の趣旨	1
2 点検及び評価の対象	1
3 点検及び評価の方法	1

I 点検及び評価の結果

1 教育委員会の活動状況	
(1) 会議の状況	2
(2) 規則等の制定・改廃の状況	6
(3) 表彰の状況	6
(4) 研修会等への参加の状況	8
(5) 学校訪問の状況	8
(6) 町民への情報提供の状況	9
(7) 教育委員会の組織	10
2 重点的な評価	
(1) 確かな学力の向上	11
(2) 健やかな体の育成	22
(3) 豊かな心の育成	26
3 教育行政推進における主要な施策の実施状況	
(1) 文教対策	28
(2) 社会教育の振興	34
(3) 社会体育の振興	40
4 昨年度の学識経験者からの主な意見と対応状況	43
II 学識経験者の意見	47

はじめに

1 点検及び評価の趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出することとなっています。

また、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとなっています。

音更町教育委員会では、これまで各種計画に基づき効果的な教育行政を推進してきましたが、法に基づく点検及び評価を行い、その結果を公表することで、町民の皆様に教育に関する事務の管理及び執行の状況について説明するとともに、今後の施策・事業の展開等に活用し、より一層効果的な教育行政の推進を図ってまいります。

2 点検及び評価の対象

平成28年度の教育委員会の活動状況のほか、平成28年度教育行政推進の方針に位置づけられて実施した施策・事業等を点検及び評価の対象としています。

また、特に町民の方から関心が高いと思われる「確かな学力の向上」「健やかな体の育成」「豊かな心の育成」について、現状や課題、今後の方針等に関する点検・評価を行っております。

3 点検及び評価の方法

教育委員会が行った点検及び評価の客観性を確保するとともに、今後の取組に向けた活用を図るため、教育に関し学識経験を有する方から点検及び評価に関する意見や助言をいただきました。

学識経験者 阿部好恵氏（帯広大谷短期大学准教授）
松村典博氏（北十勝退職校長・教頭会）

I 点検及び評価の結果

1 教育委員会の活動状況

(1) 会議の状況

教育委員会の会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律及び音更町教育委員会会議規則に基づき、教育長と4人の教育委員会委員が教育行政に関する基本的な方針の決定や教育委員会規則の制定など、教育に関する様々な議題について審議します。

平成28年度は、下記のとおり会議を開催しておりますが、それぞれの会議において、事務局から付議案件の提案理由や説明を行った後、教育委員会委員の活発な質疑、審議を経て、いずれも決定・了承されています。

事務局では、教育委員会の会議の活性化と十分な審議を実施するため、各委員に議案・資料等の事前説明を行うなど、審議がより活発なものとなるよう配慮しております。

また、教育委員会会議の前に委員相互の意見交換をする場を設け（必要に応じ事務局も入り）、日常の情報交流を図るとともに、教育委員会会議において委員の意見を反映させるため、提案議案以外に意見を提案する場を設けております。

今後も、学校訪問などの活動を充実させながら、積極的に教育行政を推進していく必要があると考えております。

期　日	付　議　案　件
28.4.21 [14:00～15:30]	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 教育委員会事務報告・ 卒業式及び入学式の実施状況について・ 小規模特認校への転入学について <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 音更町教育研究所所員の委嘱について・ 音更町学校評議員の委嘱について・ 音更町社会教育委員及び音更町公民館運営審議会委員の委嘱について・ 音更町生涯学習推進協議会委員の委嘱について・ 音更町文化財保護審議会委員の委嘱について・ 音更町青少年対策地区指導員の委嘱について・ 音更町図書館協議会委員の委嘱について・ 音更町スポーツ推進委員の委嘱について <p>(協議案)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 教育委員の学校訪問について

28.5.26 [14:00～15:05]	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会事務報告 <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音更町奨学資金審議会委員の委嘱について ・ 音更町教育研究所所員の委嘱について ・ 音更町青少年対策委員の委嘱について ・ 工事請負契約の締結について <p>(協議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成28年度補正予算（案）について ・ 教育委員の学校訪問について ・ 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について
28.6.23 [14:00～15:15]	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会事務報告 <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音更町教育研究所規則の一部を改正する規則案について ・ 音更町奨学資金支給者の決定について ・ 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する評価委員の選任について <p>(協議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の報告書について
28.7.21 [14:00～15:10]	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会事務報告 ・ おとふけ「教育を考える日」記念フェスタについて <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音更町いじめ問題等対策委員会委員の委嘱について ・ 英語指導助手の採用について <p>(協議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の報告書について

28. 8. 25 [13:30～14:25]	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会事務報告 <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音更町教育支援委員会委員の委嘱について ・ 平成29年度北海道公立学校校長採用候補者の推薦について ・ 工事請負契約の締結について ・ 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の報告書について <p>(協議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成28年度補正予算（案）について
28. 9. 29 [14:00～14:50]	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会事務報告 ・ 平成28年度全国学力・学習状況調査の結果について <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成29年度北海道公立学校教頭昇任・主幹教諭昇任候補者の推薦について <p>(協議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成28年度補正予算（案）について
28. 10. 20 [14:55～16:00]	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会事務報告 ・ おとふけ「教育を考える日」記念フェスタの進捗状況について <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成28年度音更町文化奨励賞等表彰者の決定について ・ 音更町青少年対策委員会委員の委嘱について ・ 工事請負費の締結について
28. 11. 2 [10:00～10:20]	<p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育長職務代理者の指名について ・ 音更町教育委員会公印規則の一部を改正する規則案について
28. 11. 7 [7:30～8:00]	<p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員人事の内申について

28. 11. 25 [13:00～13:30]	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会事務報告 ・ 道教委による全国学力・学習状況調査の結果公表について (議案) ・ 平成28年度全国学力・学習状況調査結果の分析について (協議案) ・ 平成28年度補正予算（案）について
28. 12. 22 [14:00～15:15]	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会事務報告 ・ 平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について (議案) ・ 平成28年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について (協議案) ・ 平成29年度教育委員会予算編成に伴う主要事業の概要について
29. 1. 19 [14:00～14:50]	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会事務報告 ・ おとふけ「教育を考える日」記念フェスタ開催結果について (議案) ・ 音更町立学校管理規則の一部を改正する規則案について ・ 平成29年度全国学力・学習状況調査の実施について ・ 音更町児童生徒文化・スポーツ賞選考委員の委嘱について ・ 小規模特認校への転入学について
29. 2. 16 [14:00～15:15]	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会事務報告 (議案) ・ 平成28年度音更町スポーツ賞等該当者の決定について ・ 音更町立学校職員の処分の内申について ・ 教職員人事の内申について (協議案) ・ 平成28年度補正予算（案）について ・ 平成29年度教育委員会予算（案）及び主要事業について

29. 3. 24 [8:00～8:45]	<p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員人事の内申について ・ 音更町教育委員会事務局職員の人事について
29. 3. 30 [14:00～14:45]	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会事務報告 ・ 卒業式の実施状況について ・ 平成28年度いじめに関する実態調査報告について ・ 音更町温水プール駐車場における事故報告について <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例施行規則の一部を改正する規則案について ・ 音更町立学校管理規則の一部を改正する規則案について <p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小規模特認校への転入学許可の取消しについて <p>(協議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成29年度教育行政推進の方針（案）について

（2）規則等の制定・改廃の状況

平成28年度に制定・改廃された教育委員会の規則・訓令及び教育関係の条例は次のとおりです。

ア 規則

題名	公布年月日	施行年月日
・ 音更町教育研究所規則の一部を改正する規則	28. 6. 23	28. 6. 23
・ 音更町教育委員会公印規則の一部を改正する規則	28. 11. 2	28. 11. 2
・ 音更町立学校管理規則の一部を改正する規則	29. 1. 19	29. 1. 19
・ 特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例施行規則の一部を改正する規則	29. 3. 30	29. 4. 1
・ 音更町立学校管理規則の一部を改正する規則	29. 3. 30	29. 4. 1

（3）表彰の状況

ア 音更町文化奨励賞等

〔音更町の文化の高揚と発展に寄与した個人又は団体を表彰〕

文化奨励賞：(科学・芸術・教育等を通じ、音更町の文化の進展に著しく貢献した個人又は団体を表彰)

	氏 名 (年齢)	表 彰 事 由
個人	畠 山 き せ (90 歳)	昭和 61 年「ひまわり会」の発足から現在までの長きにわたり部長を務める傍ら、民謡を通じて地域の福祉施設との交流、祭事等への参加協力を続けてきた。また、昭和 45 年の音更音頭制定以来、その普及に努めるなど音更町の芸術文化の発展に大きく貢献された。
個人	大 浦 瞳 子 (72 歳)	昭和 45 年に「生花安達流生花常任教授」となってから現在までの長きにわたり、生花を幅広い年代に伝える活動を続けてきた。高齢者福祉施設や病院等でボランティアを行うほか、中学校の授業で伝統文化としての生花を教えるなど、音更町の芸術文化の発展及び地域活動に大きく貢献された。
団体	鈴蘭吟詠会 代表 斎藤 敦 昭和 45 年 2 月設立	会の設立以降、各種講習会に参加し吟道の研鑽に努めてきた。とかち岳峯会吟道大会、音更町文化祭芸能発表会に出演するとともに、地域の施設等を訪問するなど、音更町の芸術文化の発展及び地域活動に大きく貢献された。

イ 音更町スポーツ賞等

[音更町のスポーツの分野において優秀な成績を収めた者及びスポーツの振興に寄与した個人又は団体を表彰]

① スポーツ賞 (全国・全道規模の大会で優秀な成績・記録を収めた個人又は団体)

【個人】

氏 名	年齢	所 属	種 目
荒 海希	12	緑陽台小学校	卓球
伊藤 愛	16	帯広三条高等学校	ハンドボール
上田 棕子	16	帯広三条高等学校	ハンドボール
佐竹 莉歩	17	帯広三条高等学校	ハンドボール
岡村 拓輝	16	帯広工業高等学校	アーチェリー
岡村 侑磨	15	下音更中学校	水泳
河江 公庸	11	音更小学校	トランポリン
鈴木 由理	10	鈴蘭小学校	空手
中林 凌牙	11	木野東小学校	体操
平子 湧	13	駒場中学校	アイスホッケー
福田 琉太	13	音更中学校	アイスホッケー
山崎 航誠	12	木野東小学校	卓球
横山 菜月	10	鈴蘭小学校	スピードスケート

【団体】

団体名	所属	種目
音更トウモロウズ（8名）	音更小学校	バレー・ボール
下音更中学校スピードスケート部	下音更中学校	スピードスケート
女子2000mリレーチーム（5名）		
J Aおとふけ野球部（18名）	軟式野球連盟	軟式野球

② スポーツ奨励賞（全国・全道規模の大会で上位入賞、十勝大会で優秀な成績）

【個人】

氏名	年齢	所属	種目
安保 綾真	18	帯広農業高等学校	柔道
石川 蓮	17	音高等学校	テニス
犬塚 麻衣	18	帯広三条高等学校	陸上
岩瀬 雅生	17	帯広農業高等学校	柔道
千頭 可奈	18	帯広農業高等学校	陸上
前田 淳也	17	音高等学校	陸上

③ スポーツ功労賞（本町におけるスポーツの普及振興に貢献のあった個人又は団体）

【個人】

氏名	年齢	所属	種目
伊藤 礼子	67	音更町体育協会	

（4）研修会等への参加の状況

教育委員会では、各種研修会に参加し、他市町村教育委員会との情報交換や、研修に努めているほか、教育行政に関する調査・研究を行っています。

平成28年度は、北海道市町村教育委員研修会に参加し、学校訪問の見方について学ぶとともに、教育委員の役割について理解を深めています。また、人工芝サッカー場を視察し、最新の情報を得ています。

年月日	場所	研修会等	参加者
28.7.6 ～7	札幌市	札幌サッカーアミューズメントパーク 第53回北海道市町村教育委員研修会	6名 (事務局1名 を含む)
28.11.25	帯広市	十勝管内市町村教育委員会教育委員研修会	4名

（5）学校訪問の状況

教育委員会では、教育委員全員と事務局職員の合わせて8名で町内全小中学校を訪問し、それぞれの学校の取組について実情把握に努めています。（1校当たり1時間30分前後）

校長から学校経営の重点及び懸案事項の説明を受けた後、授業参観を行い、子どもたちの学びの様子を見学しています。その後、校長・教頭との意見交換を行い、学校運営・教

育環境等様々な点について現状と課題を把握し、より良い教育環境の整備に努めております。また、学校訪問の際には、一部の学校において学校給食の試食も行っております。

平成28年度は、「情報モラル教育の取り組み状況」を重点テーマに訪問したほか、各学校におけるいじめや不登校の状況、校区内での不審者情報とPTAの活動状況等について意見交換を行うとともに、教職員と教育委員の顔合わせとして、職員室において教育長からの挨拶と各教育委員の自己紹介等を行い、交流を図っております。

訪問年月日	訪問学校名
28.6.23	音更小学校、東土幌小学校
28.6.28	下音更小学校、木野東小学校、下音更中学校
28.7.14	東土狩小学校、西中音更小学校、南中音更小学校
28.7.21	駒場小学校、駒場中学校
28.8.25	鈴蘭小学校、共栄中学校
28.8.30	下土幌小学校、昭和小学校、柳町小学校
28.9.13	緑陽台小学校、音更中学校、緑南中学校

(各種学校行事等)

小中学校の入学式・卒業式に教育長をはじめ各委員が出席するほか、運動会・体育祭への訪問等を行っています。

(6) 町民への情報提供の状況

教育委員会では、教育に関する制度や手続、行事等の周知を図るために、様々な情報を提供しています。

今後もホームページや町広報紙等を活用し、情報提供の方法を工夫しながら、より一層わかりやすく様々な情報を提供していく必要があると考えています。

ア 広報紙の活用

毎月発行している広報「おとふけ」で教育に関する各種情報の提供に努めました。

(主な掲載情報)

- ・「生涯学習のまど」OOCJ Cオープンカレッジ等の各種講座の紹介
- ・「図書館通信」新着・おすすめ図書の紹介、図書館行事のお知らせ
- ・その他（小規模特認校の特集紹介等）

イ ホームページの活用

ホームページの管理・運営を通じて、教育委員会の活動を町民にお知らせしています。

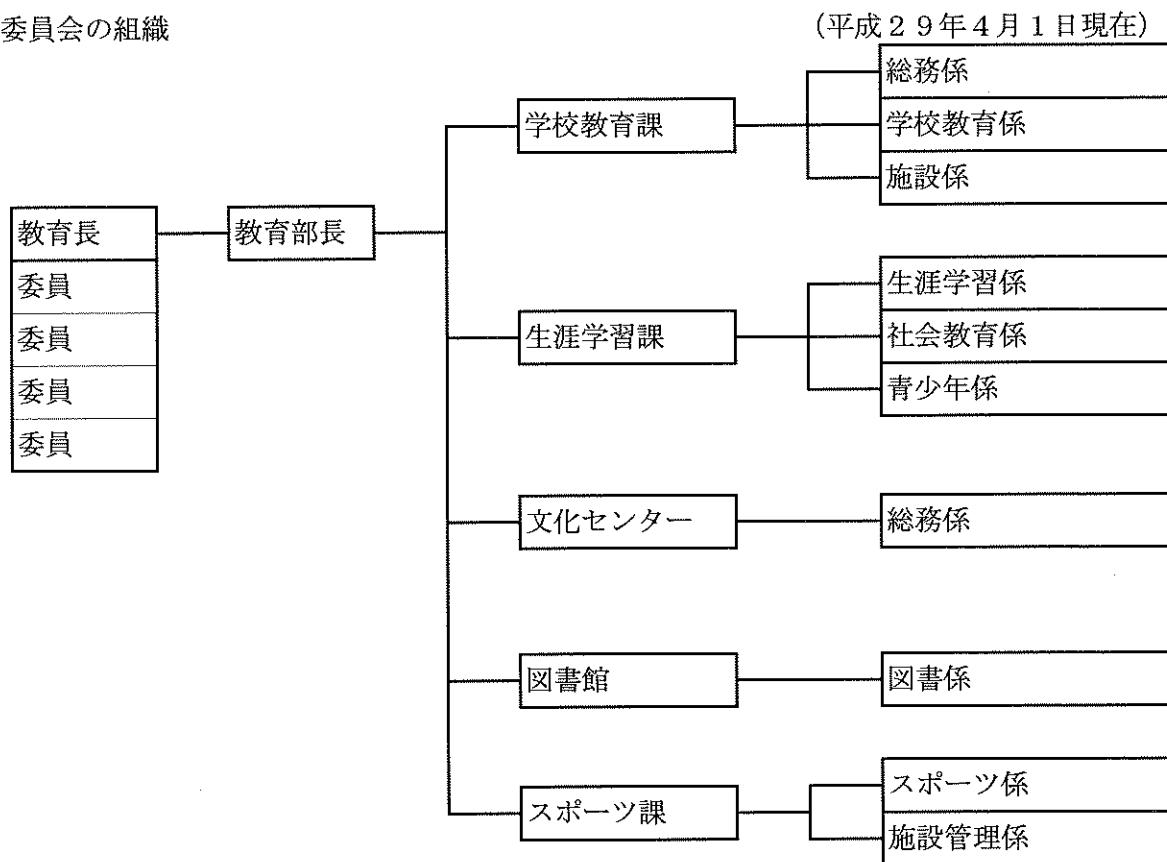
(主な掲載情報)

- ・音更町の教育目標
- ・小中学校ホームページ
- ・学校教育関係（区域外就学、就学援助等）
- ・社会教育関係（施設の紹介・空き状況/予約、生涯学習等）
- ・図書館（蔵書検索）
- ・教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の報告書
- ・定例の教育委員会会議の開催案内と会議結果（要旨）
- ・社会教育委員協議会等の審議会の会議結果

(7) 教育委員会の組織

教育委員会			(平成29年4月1日現在)	
職名	氏名	就任日	期数	現任期満了日
教育長	宮原 達史	平成27年 4月 1日	1期目	平成30年 3月31日
委員	田中 義博	平成16年11月 2日	4期目	平成32年11月 1日
委員	石川 秀朗	平成22年 1月20日	2期目	平成30年 1月19日
委員	種川 健	平成27年11月 5日	1期目	平成31年11月 4日
委員	川井 麗子	平成28年11月 2日	1期目	平成30年11月 1日

教育委員会の組織



2 重点的な評価

(1) 確かな学力の向上

音更町教育委員会では、教育行政推進の方針において、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に身につけ、それらを活用できる学力を育むことが重要であると捉え、学校と家庭が連携して、「生きる力」の基盤となる確かな学力を推進していくこととしております。その取組を進める上で、子どもの学力の傾向を把握して課題を捉えるために、平成28年度も全国学力・学習状況調査に参加し、小学校6年生と中学校3年生を対象に、国語、算数・数学について悉皆調査を行っております。さらに、児童・生徒質問紙についてのクロス集計を行い、その分析結果を活用しています。

① 児童生徒の学力の現状と課題

平成28年度調査の分析・考察

【小学校】

<総評>

全ての教科において、全道平均とほぼ同程度（下位）である。国語A・B、算数Aは全国平均よりやや低く、算数Bは低い。昨年度に比べると算数Aに改善が見られ、全国との差が縮まっている。

<領域・観点・問題形式>

- 国語Aは、漢字の書き取りやローマ字の読み書きに課題が見られる。
- 国語Bは、設問に応じて自分の考えを書く問題に無解答が多い。
- 算数Aは、割合や百分率など数量関係に課題が見られる。
- 算数Bは、数と計算・数量関係の領域に課題が見られる。特に、式の意味や数値の示す内容を記述する問題の正答率が低く、無解答も多い。

【中学校】

<総評>

国語A・B、数学Bは全道とほぼ同程度（上位）であり、数学Aは同程度である。国語A・Bは全国とほぼ同程度（上位）であり、数学A・Bは同程度である。数学Aに改善が見られ、大きく伸びている。

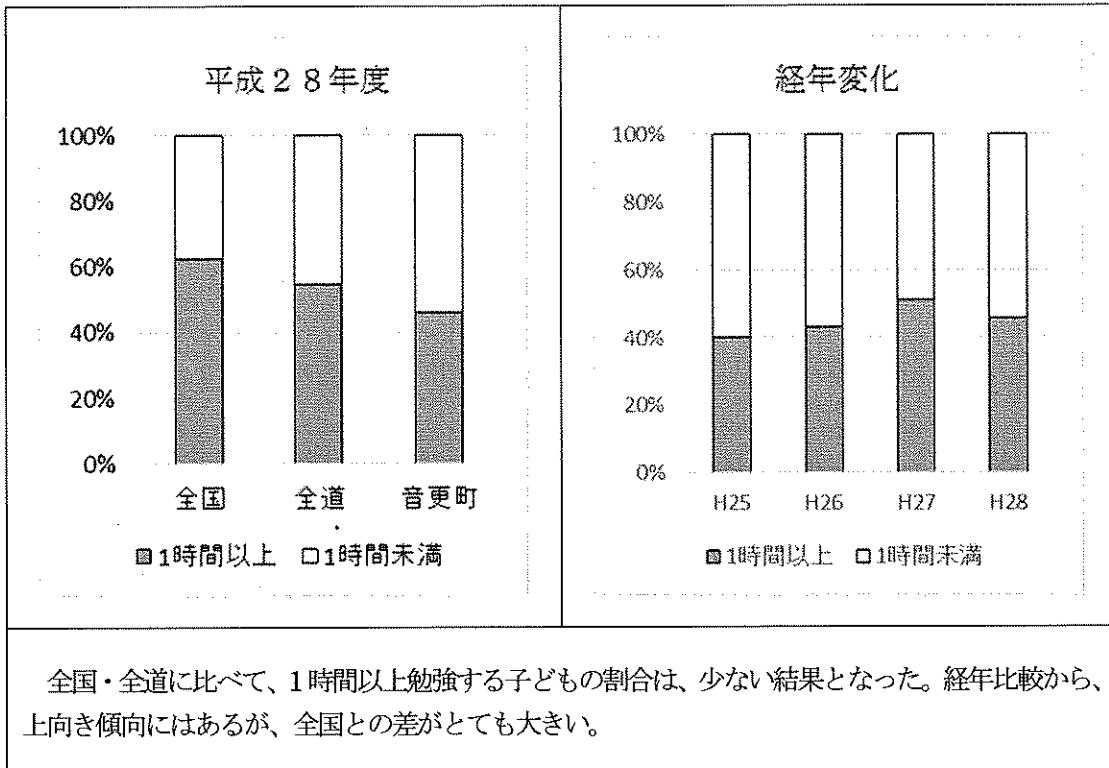
<領域・観点・問題形式>

- 国語Aは、漢字の書き取りが全国を下回っている。しかし、辞書や辞典の使い方の問題では、高い正答率である。
- 国語Bは、全領域で全国を上回っている。
- 数学Aは、全領域で全国を上回っているが、文字式の問題に課題が見られる。
- 数学Bは、図形や関数の領域で全国を上回っているが、資料の活用の領域に課題が見られる。

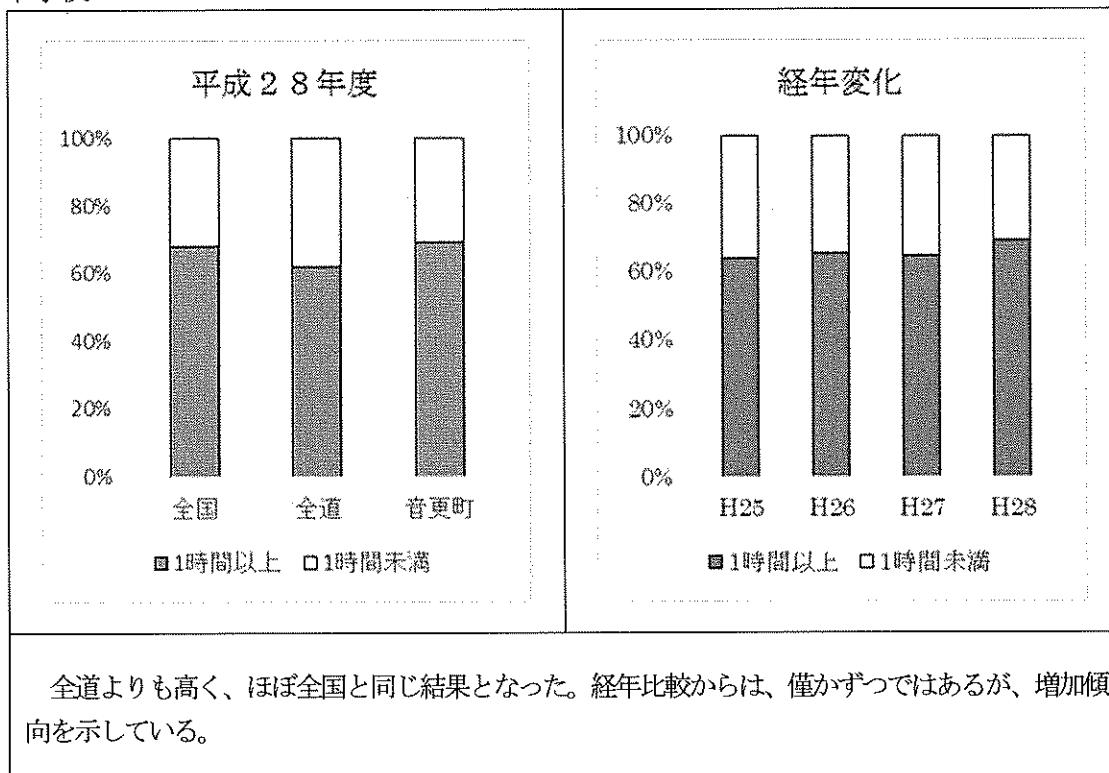
<児童・生徒質問紙>

1. 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

<小学校>

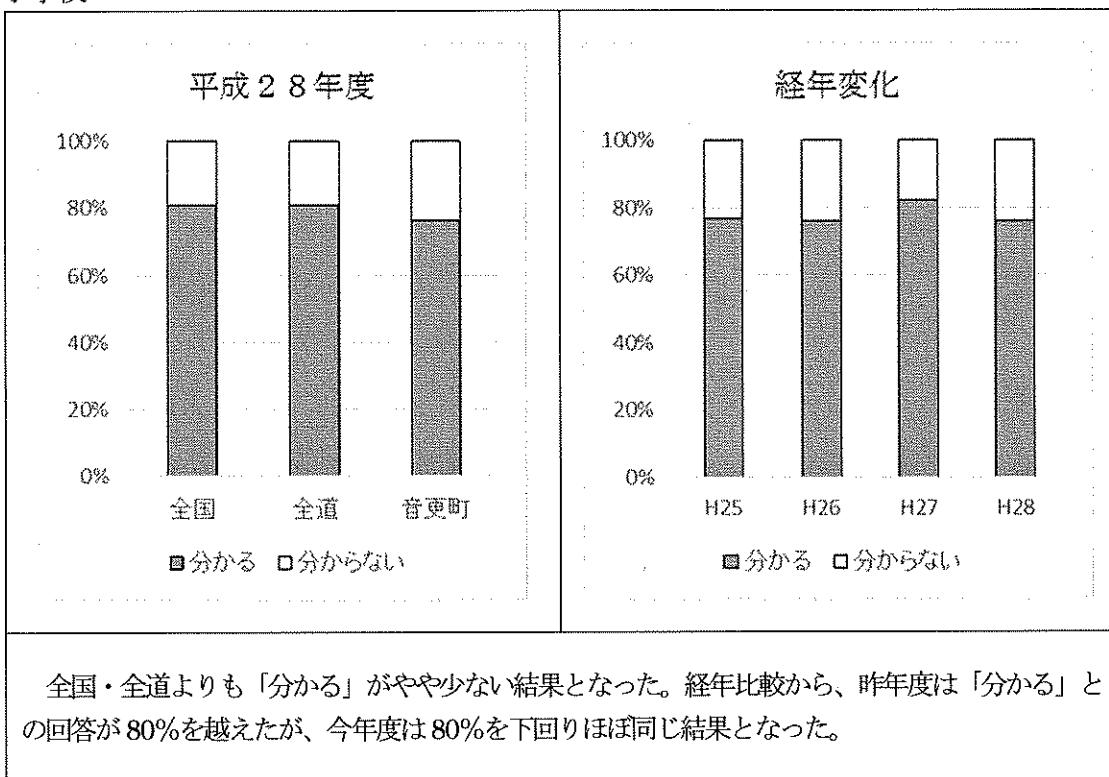


<中学校>

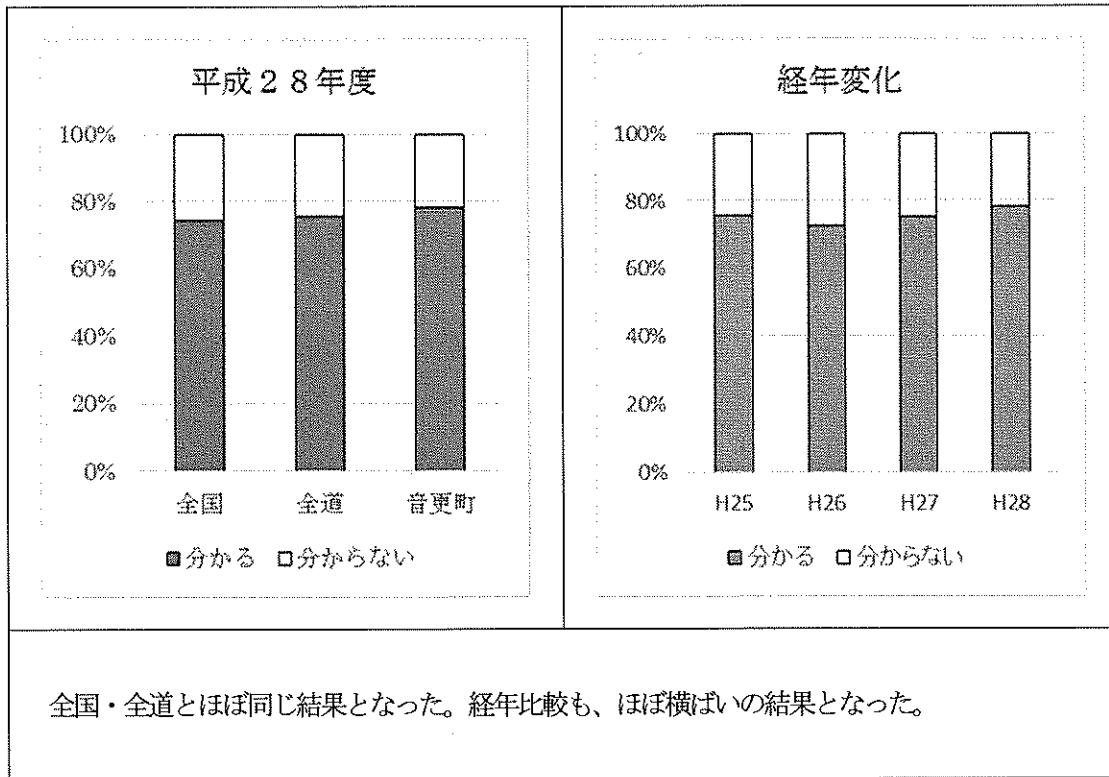


2. 国語の授業の内容は、よく分かりますか。

<小学校>

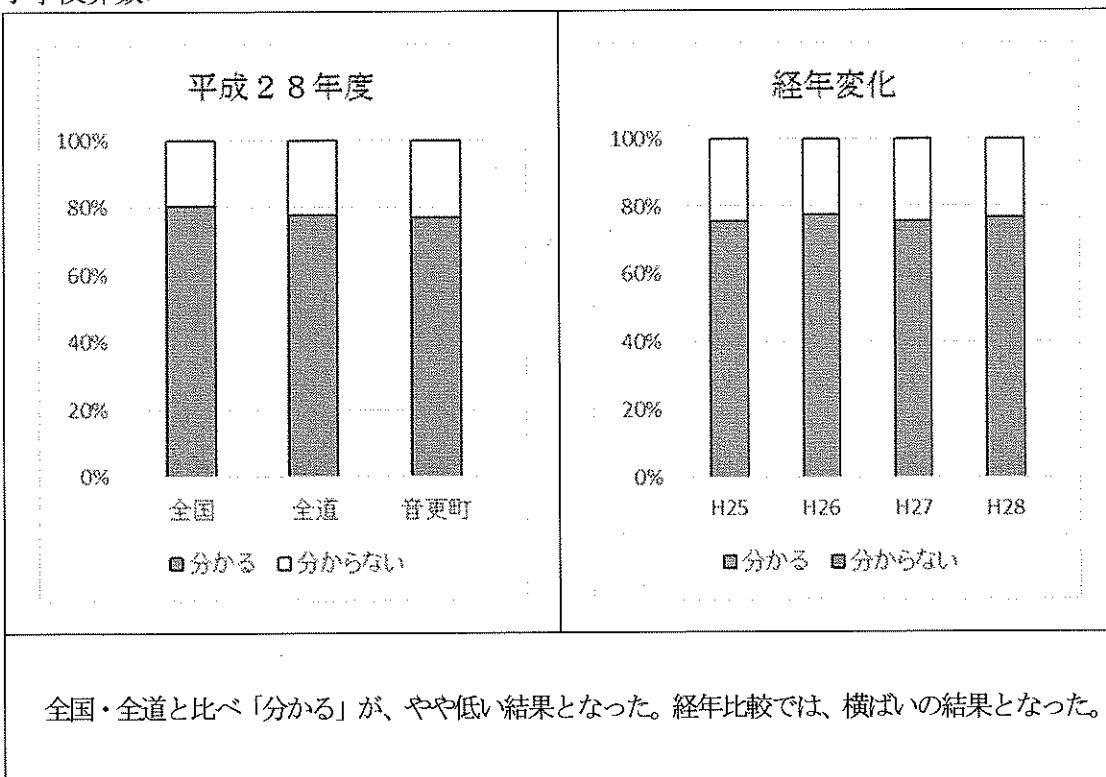


<中学校>

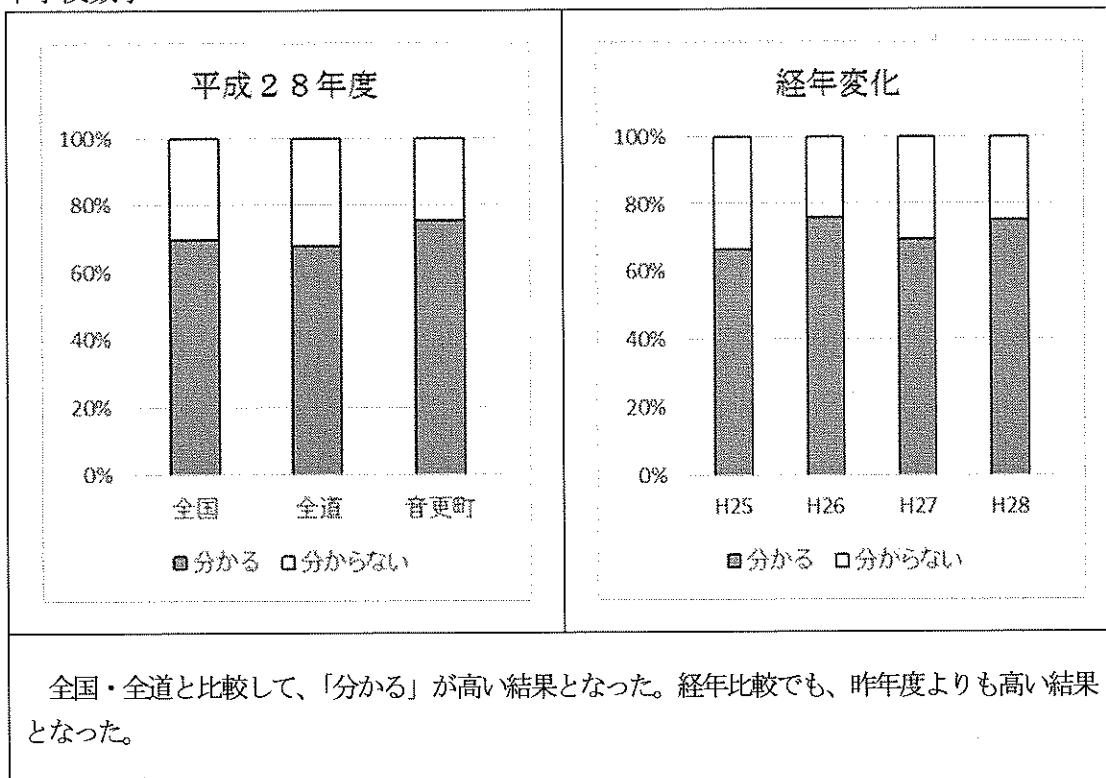


3. 算数・数学の授業の内容は、よく分かりますか。

<小学校算数>

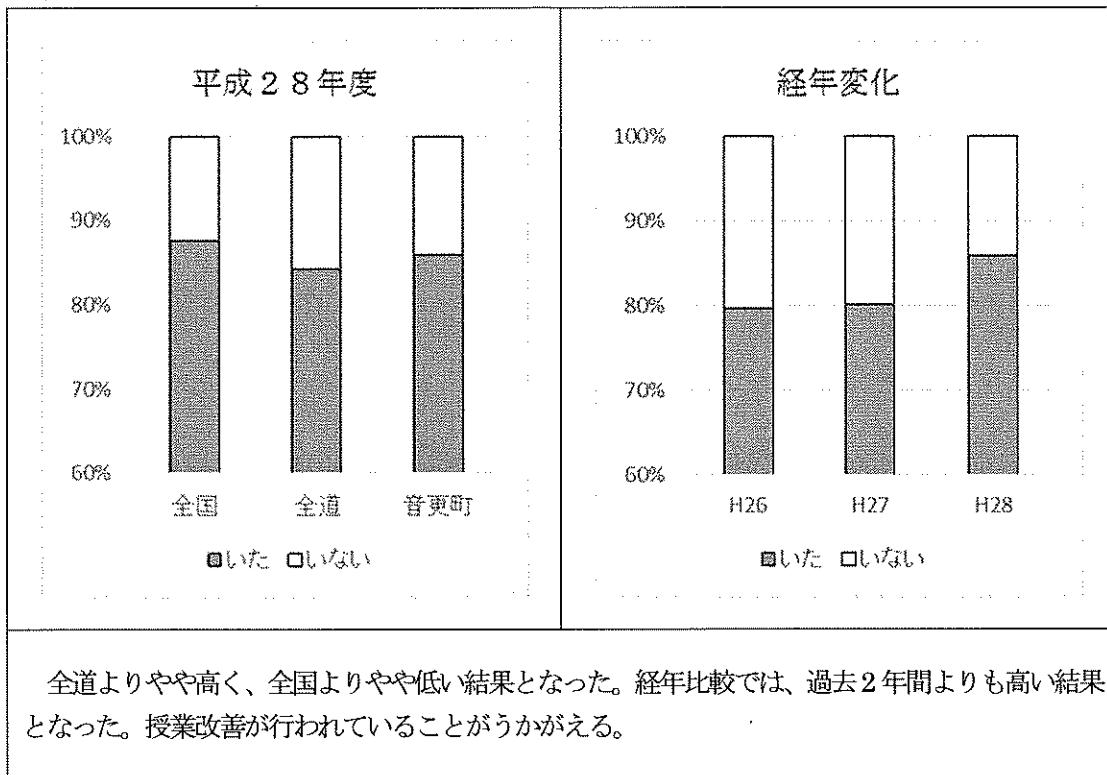


<中学校数学>

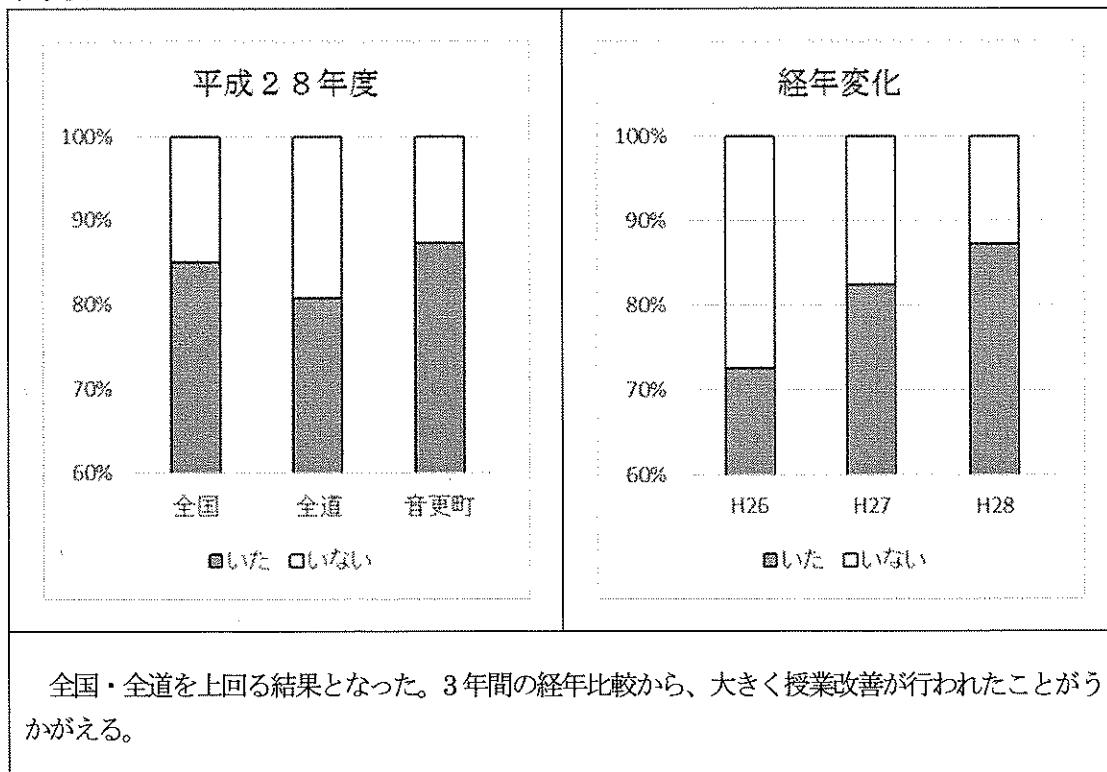


4. 昨年度までに受けた授業のはじめに、目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか。

<小学校>

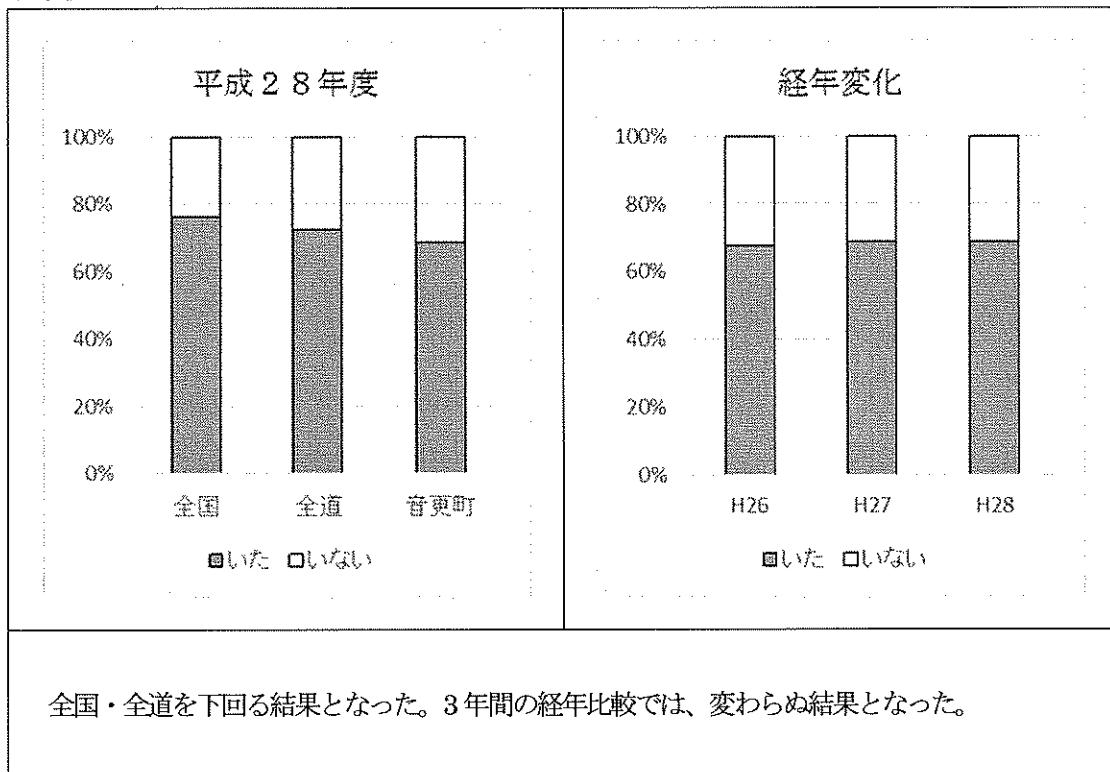


<中学校>

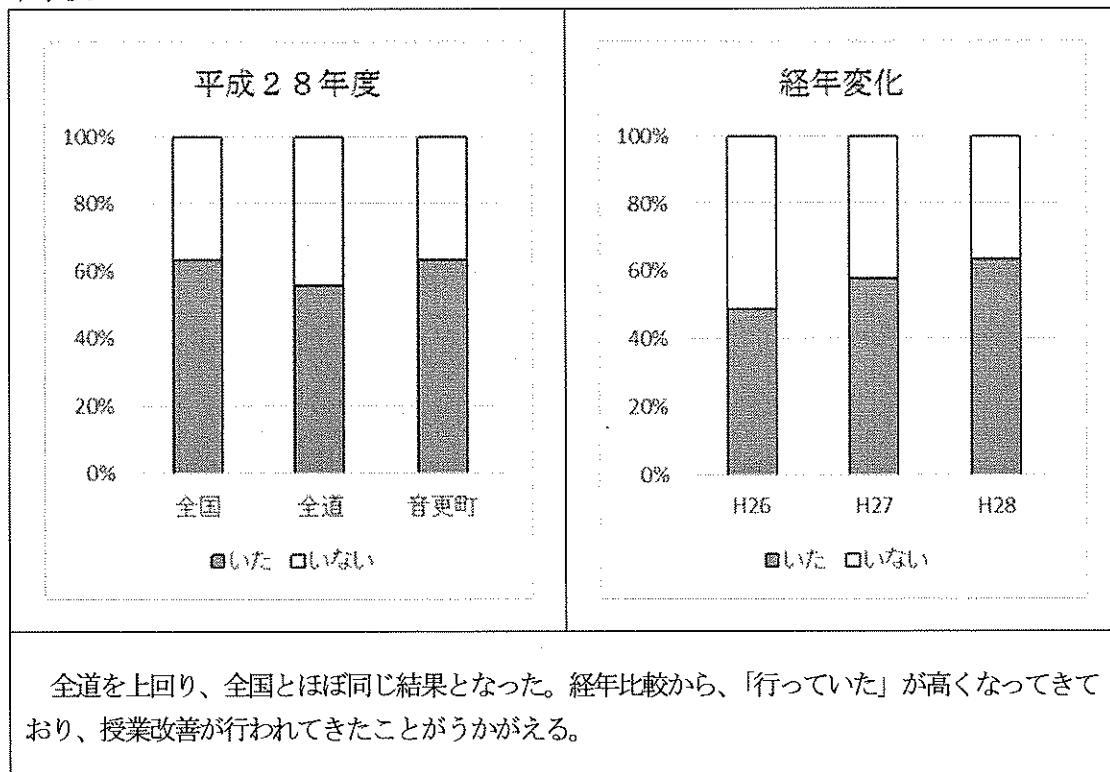


5. 昨年度までに受けた授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。

<小学校>

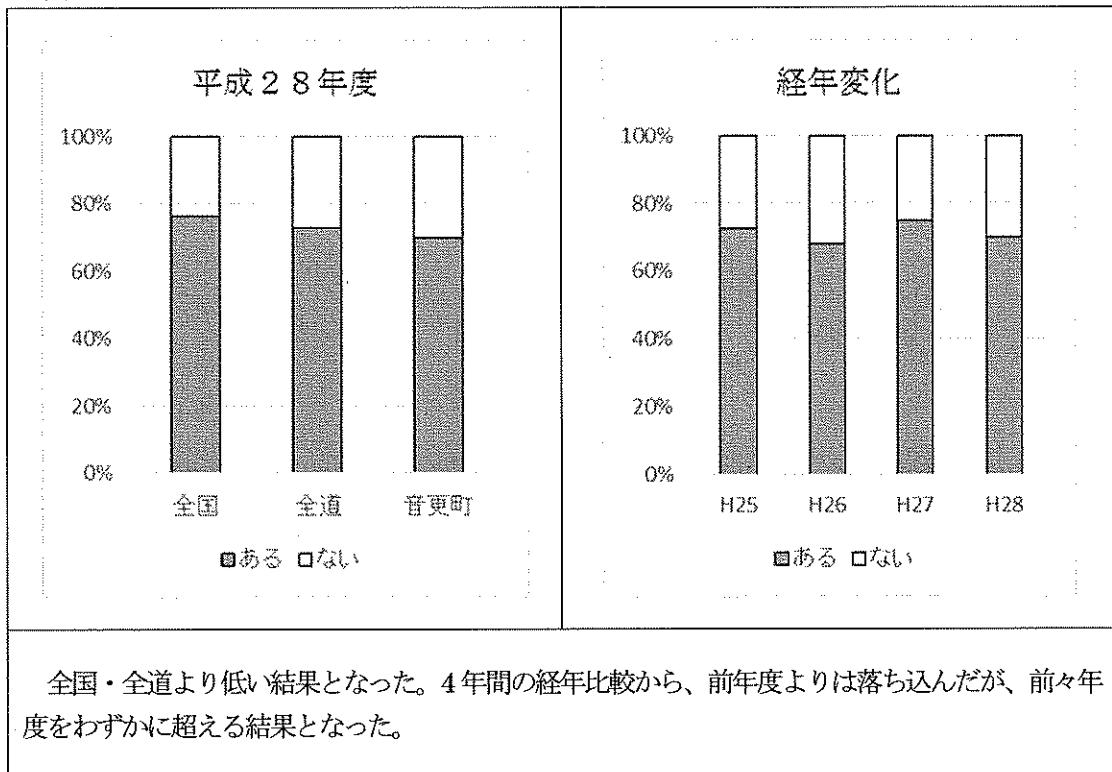


<中学校>

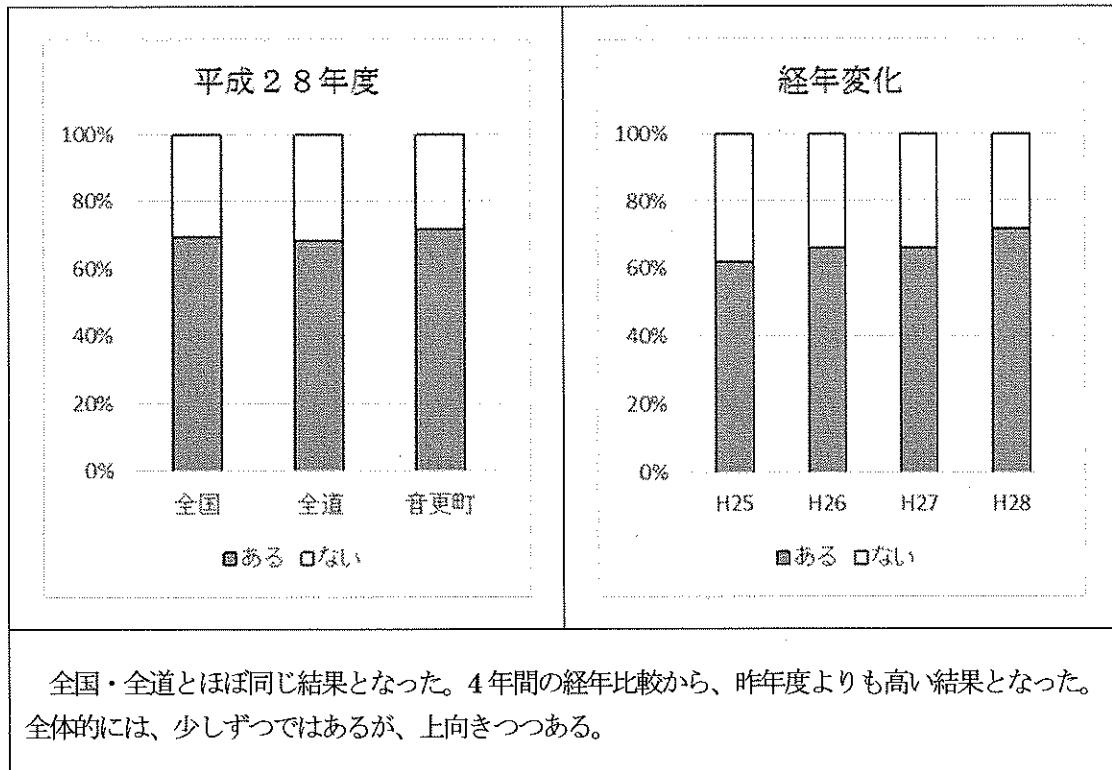


6. 自分には、よいところがあると思いますか。

<小学校>

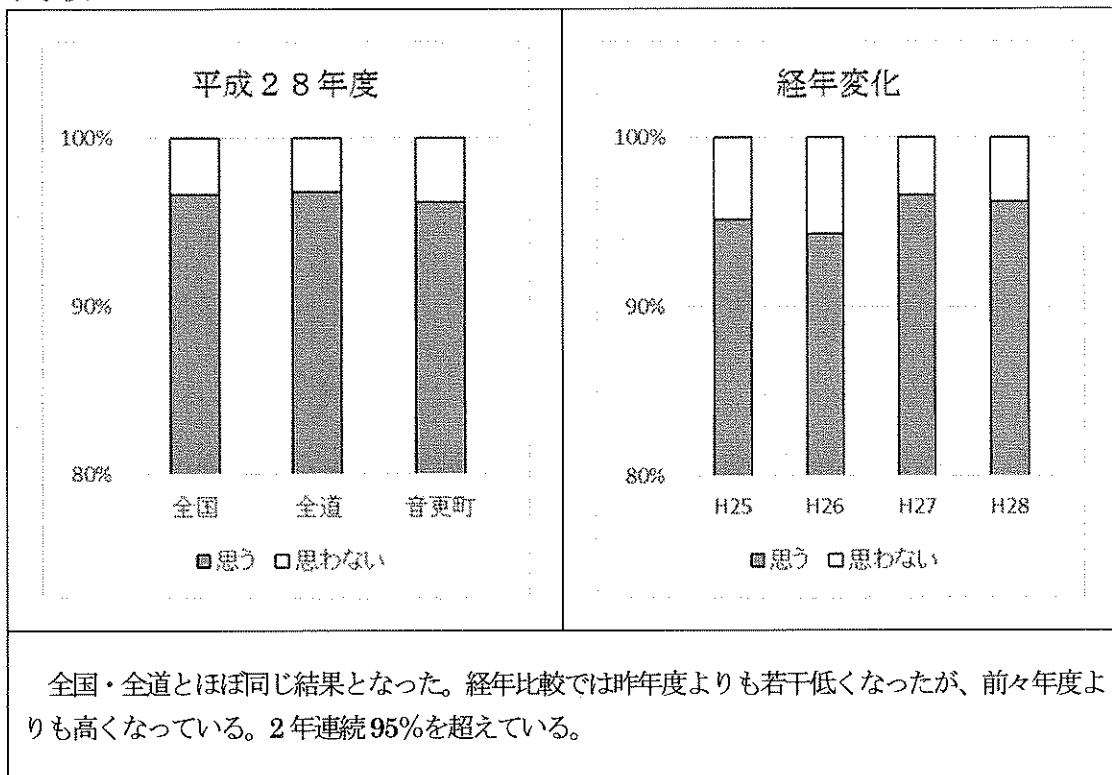


<中学校>

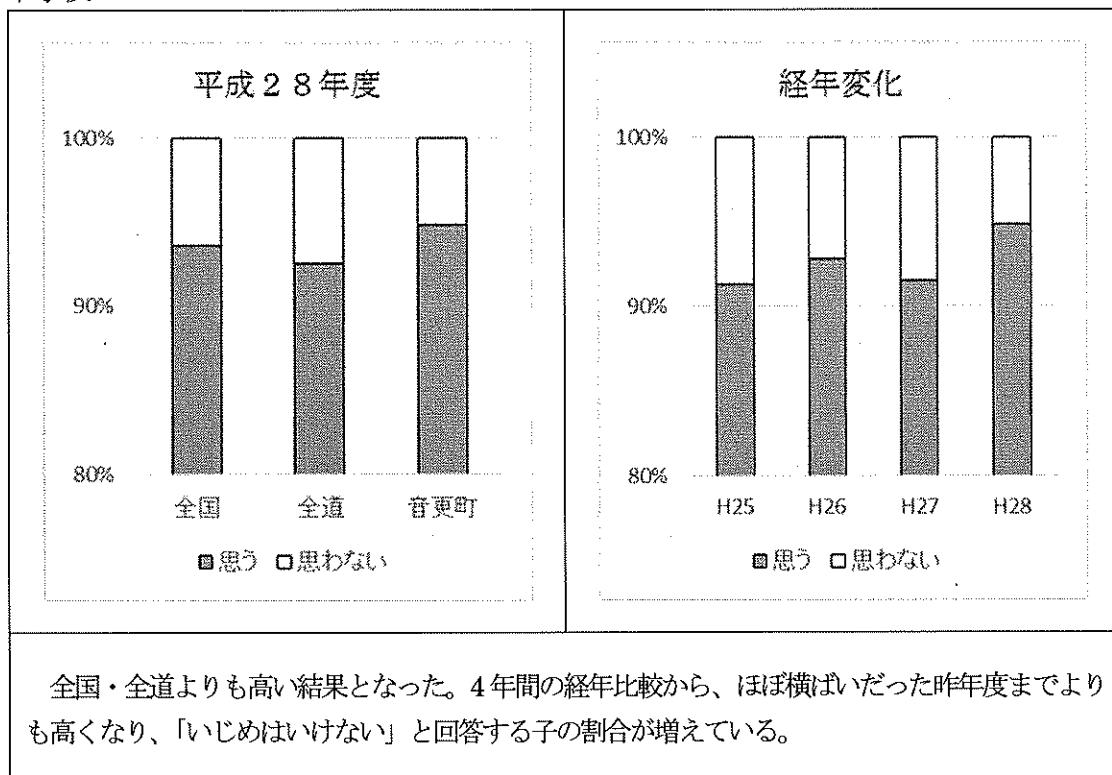


7. いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

<小学校>

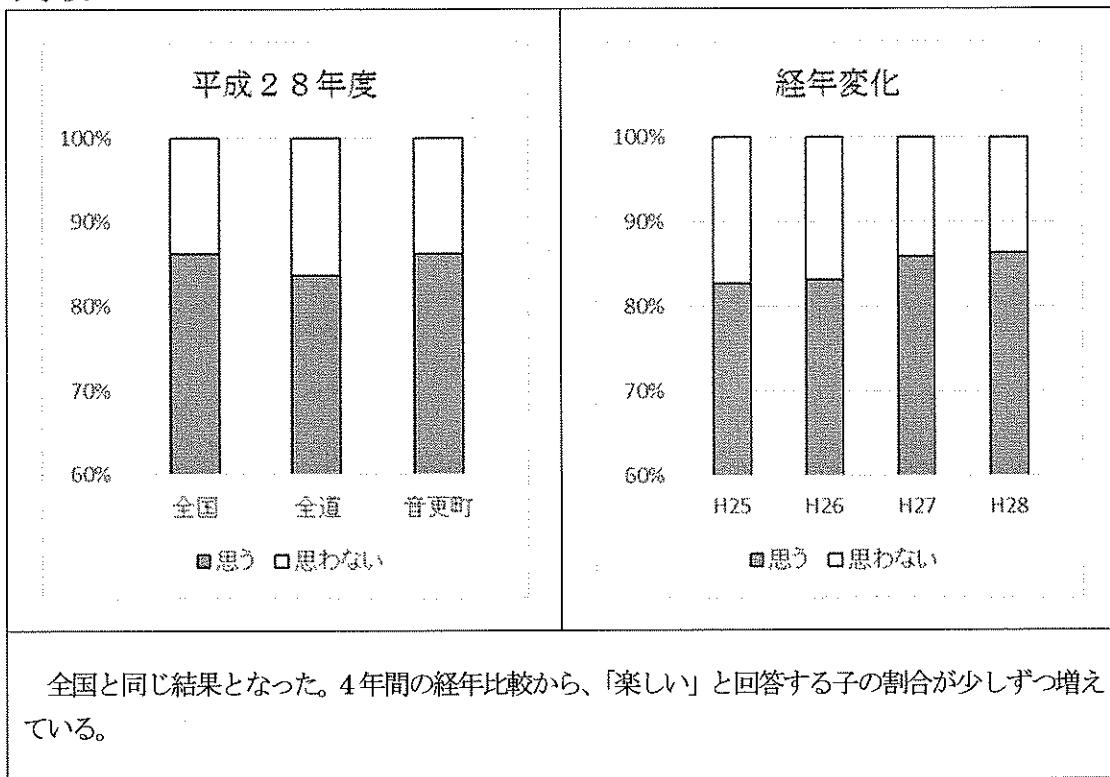


<中学校>

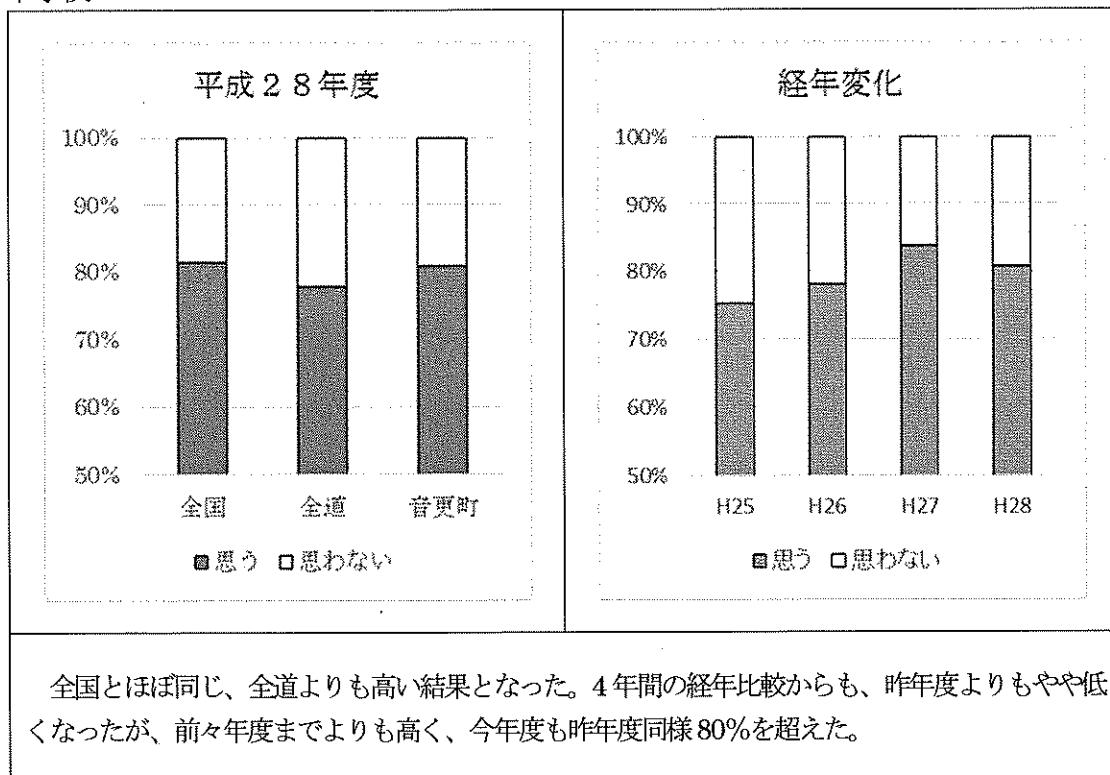


8. 学校に行くのが、楽しいと思いますか。

<小学校>



<中学校>



【クロス集計分析】

- 「読書が好きですか」との問い合わせに対して、「好き」と回答した児童生徒の国語・算数（数学）の正答率が「好きではない」と回答した児童生徒の正答率を上回っている。
- 「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」との問い合わせに対して、「している」と回答した児童生徒の正答率が高く、「全くしていない」と回答した児童生徒の正答率を大きく上回っている。特にこの傾向は小学生で顕著である。
- 「普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール等をしますか」との問い合わせに対して、1時間以内（持っていないを含む）と回答した児童生徒が多く、多くの教科で最も正答率が高い。
- 「自分には、よいところがある」等、自尊感情が高い児童生徒ほど全ての教科で正答率が高い。「地域や社会で起こっている問題や出来事に关心がある」と回答した児童生徒が最も正答率が高い。

② 学力向上のための取組

◆教育委員会の主な取組

1. 全国学力・学習状況調査の分析と検証を行い、「学力の傾向と改善のポイント」としてまとめ、学習指導の改善や学習意欲の向上に資する基礎資料を提示
2. 特別支援教育の推進のため、特別支援教育学習支援員は、平成27年度から30名、複式教育学習支援員は平成25年度から2人を配置
3. 35人を超える学級を有する小学校に対し、町費負担の臨時教諭を平成28年度から5名配置
4. 教育相談や各種指導助言業務、学校と教育委員会の連携のため、教育推進員2名を配置
5. 指導方法工夫改善事業、少人数学級実践研究事業（小2・中1）等を活用し、教員の加配等による学習環境の向上を実施
6. 教職員の資質の向上を図るため、教職員研修（校内研修、道内研修、実践指定校事業）への補助と研修の充実
7. 「家庭学習のすすめ」、「家庭学習の手引き」を作成し、児童生徒及び家庭に配布
8. 学級文庫を小学校6校に配置し、夏・冬休みに本の入替を実施、また、移動文庫として小学校7校に出向き、毎月本の入替と低学年を対象とした読み聞かせを実施
9. 退職校長会と連携し、長期休業中（夏季・冬季）に「熟年先生から学ぼう講座」を実施
10. 小中学校のPC教室と実物投影機の計画的な整備

◆学校の主な取組

1. 全国学力・学習状況調査やCRT（標準学力検査）の分析結果に基づく学校改善プランの作成と組織的な取組の推進
2. 分かる授業（課題提示とまとめの時間の確保）を目指す授業改善
3. 特別に配慮を要する児童生徒等に対する補充的な学習サポートや習熟度別指導の充実
4. 加配教員、臨時教諭及び学習支援員等による学習指導の充実
5. 教職員の資質の向上を図るため、校内研修の充実と各種研修への積極的な参加
6. 宿題や家庭学習専用ノートの活用による家庭学習の充実
7. 「家庭学習のすすめ」や「家庭学習の手引き」を活用した家庭での学習習慣の啓発

8. 小・中の円滑な接続による学びの連續性の確保

◆家庭や地域との連携

1. 保護者及び地域住民に対する学習の機会及び情報の提供
2. 学校と連携し、「早寝・早起き・朝ごはん」などによる基本的な生活習慣の定着と学習習慣の確立
3. リズムのある規則正しい生活ができるよう P T A 等と連携した啓発活動

(2) 健やかな体の育成

体力とは、人間の発達・成長を支え、体を動かす原動力であると同時に、健康を維持する上でも必要なものです。また、体力は知力や意欲・気力といった精神面の充実にも大きく関わっており、体力は「生きる力」の重要な要素の一つとなります。その取組の一つとして、全国体力・運動能力、運動習慣等調査を、小学校5年生と中学校2年生を対象に、悉皆調査を実施しております。また、調査結果を分析・考察した結果を活用して、本町児童生徒の体力・運動能力向上を推進しております。

① 児童生徒の現状と課題

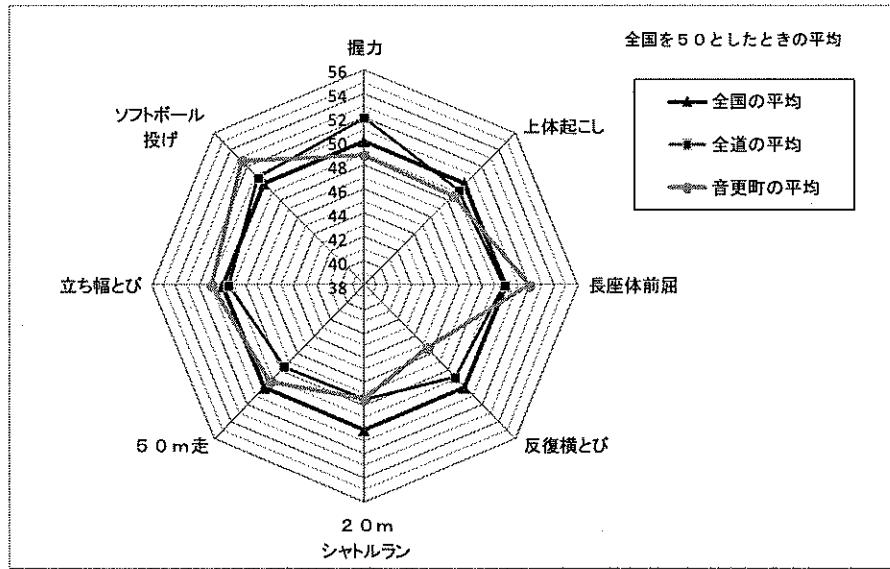
平成27年度調査の分析・考察

【小学校5年男子】

<分析と考察>

- 体力合計点は、全国平均を下回り、全道平均と同程度となった。
- 各種目では、「長座体前屈」「ソフトボール投げ」は平成27年度も全国・全道平均を大きく上回っている。また、前年度課題となった「立ち幅跳び」が大幅に向上了。「反復横跳び」「20mシャトルラン」は全国・全道平均を大きく下回る結果となった。
- 課題としては、「敏捷性」「全身持久力」の向上である。
- 児童質問紙では、「体育科の授業は楽しい」「運動が好き」「運動が得意」は全国平均とほぼ同じ数値で、運動に対する意識は好ましい結果となっている。少年団活動等に積極的に参加する児童が多く、家庭における運動習慣に対する意識もかなり高い。

<各種目ごとの全国・全道平均との比較>

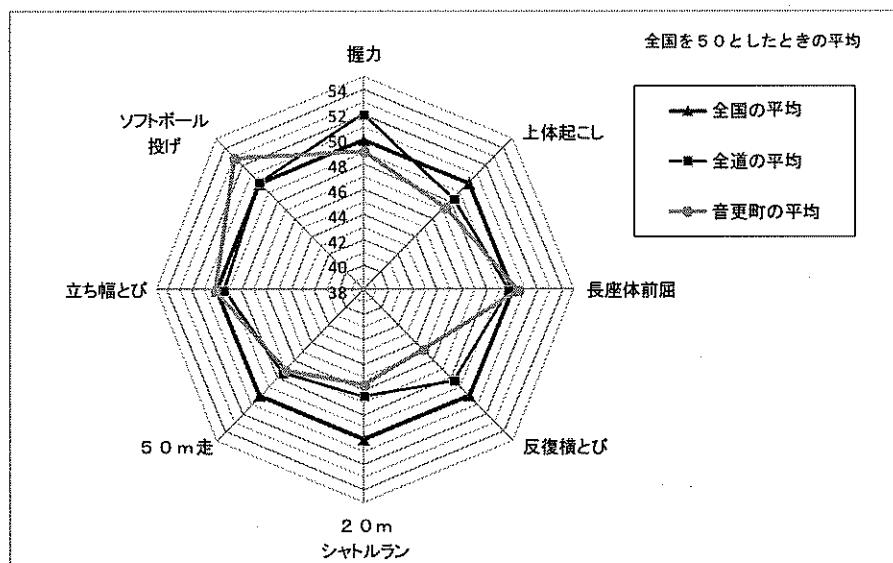


【小学校5年女子】

<分析と考察>

- 体力合計点は、全国・全道平均を下回る結果となった。
- 各種目では、以前から課題となっていた「長座体前屈」「立ち幅とび」が、全国・全道平均を若干上回る結果となった。さらに、「ソフトボール投げ」は全国・全道平均を大きく上回っている。「反復横とび」「20mシャトルラン」は、全国・全道平均を大きく下回る結果となった。
- 課題は、「敏捷性」「全身持久力」の向上である。
- 児童質問紙では、「運動部に入っている」「家の人の運動のすすめ」については、全国平均よりも高い結果を示している。この結果はここ数年の傾向であるため、本町の特徴といえる。「運動が好き」「体育科の授業は楽しい」は全国平均よりわずかに低い。

<各種目ごとの全国・全道平均との比較>

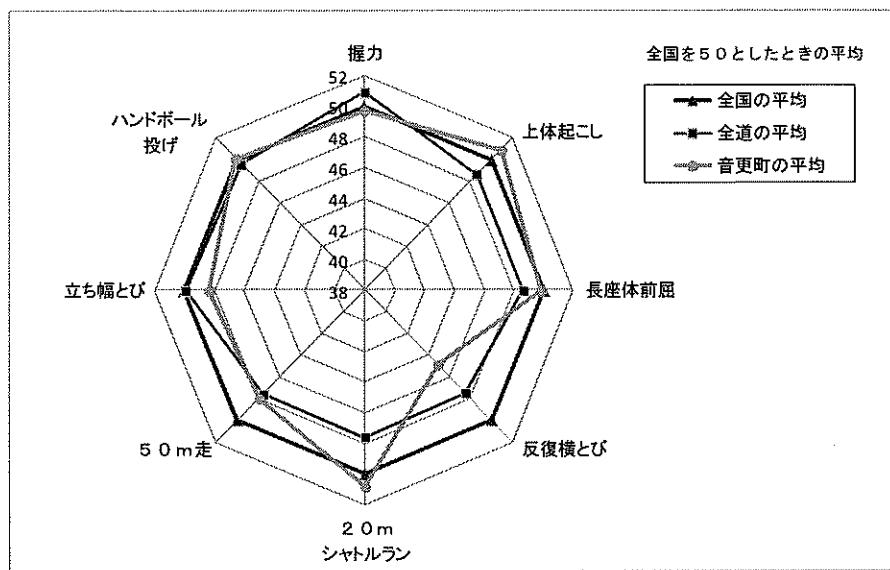


【中学校2年男子】

<分析と考察>

- 体力合計点は、全国平均を下回ったものの全道平は上回った。各種目の平均値が全国平均に近づき、バランスがとれつつある。
- 各種目では、「上体起こし」「20mシャトルラン」「ハンドボール投げ」は全国・全道平均を上回っている。特に、「上体起こし」は前年度から大きく改善している。「反復横とび」では、全国・全道平均を大きく下回る結果となった。さらに、「50m走」も全国平均を下回っている。
- 課題としては、「敏捷性」「スピード」の向上である。
- 生徒質問紙では、「運動部に入っている」「保健体育科の授業は楽しい」は全国平均を上回る結果となっている。「運動が好き」「運動が得意」と感じている生徒は比較的少ない。また、「家の人の運動のすすめ」が極端に低い結果となっている。

<各種目ごとの全国・全道平均との比較>

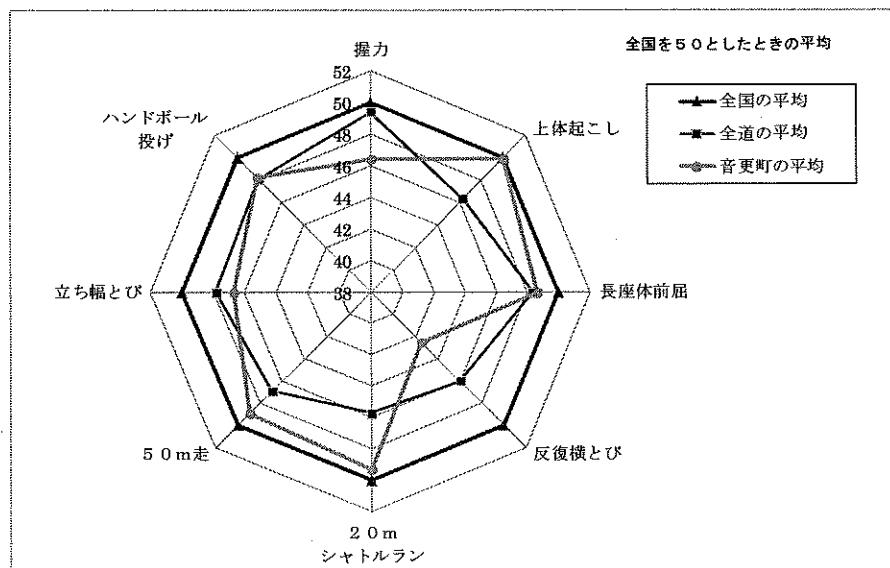


【中学校2年女子】

<分析と考察>

- 体力合計点は、全国平均を大きく下回ったものの全道平均は上回った。各種目の平均値が全国平均に近づき、全体的にバランスがとれており、改善傾向にある。
- 各種目では、前年度より改善されつつあるのが「上体起こし」「20mシャトルラン」「50m走」である。「立ち幅とび」「ハンドボール投げ」は、全国平均を大きく下回った。また、「反復横とび」「握力」も全国・全道平均を下回っている。
- 課題は、「瞬発力」「巧緻性」「敏捷性」「筋力」の向上である。
- 生徒質問紙では、「運動部が好き」「保健体育科の授業は楽しい」は全国平均を上回っているが、「運動部に入っている」「家人の人からの運動のすすめ」は全国平均並みである。運動に対して、好印象を持っているが、進んで運動に取り組む状況がないことが読み取れる。

<各種目ごとの全国・全道平均との比較>



②体力向上のための取組

◆教育委員会の主な取組

1. 体力・運動能力の向上、運動習慣の改善に向けた教材・教具の充実等、学校への支援
2. 全国・体力運動能力、運動習慣等調査の分析結果を、体力向上の基礎資料として提示
3. 体育専科教員の加配による体育授業の充実
4. 体力づくり、健康づくりの振興（スポーツライフ、各種スポーツ教室、各種スポーツ大会の開催）
5. スポーツ指導者、リーダーの育成
6. スポーツの奨励及び顕彰（スポーツ大会参加補助、スポーツ賞等表彰）
7. 町内スポーツ施設の整備充実
8. 地産地消と食育の推進のため、おとふけ給食などを実施

◆学校の主な取組

1. 「年間指導計画」に基づく学校全体の体力づくりの推進
2. 体育的行事を通した体力づくりの充実
3. 全国体力・運動能力、運動習慣等調査や新体力テストの結果を活用した組織的な体力向上の取組
4. 体育（保健体育）の授業改善による基礎体力の向上と課題克服に向けた取組の充実
5. 「体力づくり一校一実践」や「どさんこ元気アップチャレンジ」の取組
6. 少年団活動や部活動の加入の奨励と運動習慣の確立
7. 「年間指導計画」に沿った食に関する指導の充実（栄養教諭の活用）

◆家庭との連携による体力づくりの推進

1. 「早寝・早起き・朝ごはん」の定着と、帰宅後の生活習慣の改善に努め、リズムのある規則正しい生活ができるようPTA等と連携した啓発活動
2. 運動習慣の大切さに対する意識を高め、自ら運動への関心・意欲を高める工夫
3. 食育の推進等により、望ましい食習慣を身に付け、健康的な生活習慣を形成

(3) 豊かな心の育成

子どもたちの健やかな成長と心豊かな未来のためには、自立し、共に支え合いながら、善悪の判断・人を思いやる心・命や自然を大切にする心・ふるさとを愛する心などを育成することが大切であります。このため、いじめや不登校などの問題については、教育活動全体を通じての指導や道徳教育の充実、学校、家庭、教育委員会などが連携した取組が必要です。

① いじめ・不登校の現状と課題

<いじめ>

平成28年度に実施したいじめに関するアンケート調査結果では、「4月以降にいじめられたことがある」と答えた小学生が217件、中学生では18件となっており、「いじめは今でも続いている」と答えた小学生の事例が65件、中学生の事例が2件ありました。そのうち、教育相談により解消した事例は66件で、残りの小学生1件については、学級全体への指導により、昨年度中に解消しています。

また、「いじめはどんな理由があっても許されない」と回答している児童生徒は約84%で、前年度と横ばい傾向にあります。さらに、児童生徒のインターネットの利用によるトラブルも増加傾向にあり、保護者と連携した情報モラル教育の充実が喫緊の課題となっています。

<不登校>

平成28年度における不登校の状況は小学生13名、中学生68名の合計81名で、中学校においては前年度より大幅に増加しています。そのうち、適応指導教室（ふれあい教室）への通級者は、小学生0名、中学生19名の合計19名で、前年度より通級者が増加しています。また、友人とのトラブルにより不登校となっていた生徒2名について、不登校解消のため、区域外就学を許可したところであります。

不登校の要因や背景は、複雑・多岐にわたっており、関係機関等との相談・指導を受け解消している場合もありますが、相談等を受けずに不登校が長期間続いている児童生徒もいることが大きな課題となっています。

② いじめ・不登校未然防止の取組

いじめは「どの子どもにも、どの学校でも起りうる」という意識を持ち、教育活動全体を通じ、全ての児童生徒に「いじめは決して許されない」という理解を促し、心の通う人間関係を構築する能力を養うことが必要であります。また、早期発見のためには、学校、家庭が一体となって児童生徒を見守り、ささいな変化に気づくことが必要であります。

不登校については、原因を解決することが難しい場合が多いことから、特定の状況下で起こるのではなく、「どの子どもにも起りうる」と捉え、未然防止に向けて児童生徒の自己有用感を高め、児童生徒一人一人の居場所のある学校づくりの取組が大切です。

◆教育委員会の取組

1. 「音更町いじめ防止基本方針」に基づく、いじめ・不登校の防止等の取組
2. いじめ・不登校の未然防止や根絶を図るため、アンケート調査や心理検査等を実施
3. 学校に対する支援や相談体制の充実（青少年の悩み相談電話、学校教育相談員、教育推進員、心の教室相談員等）

4. 携帯電話やスマートフォンなどのインターネットを通じて行われるいじめの早期発見を図るため、PTA等関係機関と連携し、家庭におけるルールづくりの啓発
5. 適応指導教室（ふれあい教室）による不登校対策
6. 「音更町いじめ問題等対策委員会」による状況の把握と、指導事例集の作成及びいじめ防止啓発等の推進
7. 家庭・地域・関係機関（警察、児童相談所、医療機関等）との連携体制の充実

◆学校の主な取組

1. 「いじめ防止基本方針」に基づく、いじめ・不登校の未然防止、早期発見・早期解消の取組
2. いじめ・不登校の未然防止や早期発見のため、定期的に実施するアンケートや心理検査の分析を活用した教育相談や学級経営
3. 教育相談体制の充実と教育相談の実施
4. 道徳の時間などにおいて、共感的な関係を深め、体験的な活動の充実
5. ネットトラブルから児童生徒を守るため、定期的なネットパトロールの実施と情報モラル教育の充実
6. 家庭・地域・関係機関（警察、児童相談所、医療機関等）との連携

◆家庭や地域との連携

1. 自尊感情や他人を思いやる心の醸成
2. 家庭だけで悩まず、学校や教育委員会などとの連携
3. 社会教育の充実（地域で子どもを育てる気運）
4. 携帯電話やスマートフォンなどの家庭におけるルールづくり

3 教育行政推進における主要な施策の実施状況

項目	成 果	教育委員会の点検・評価
項 主 要 な 施 策		
文 教 職 員 研 修	教職員の資質の向上を図るため、次のとおり研修を行った。 対象教職員 366人 2,642,149円	教職員の素養、知識、技術向上のために学校内で行う研修と、道内研修参加者にその費用を交付した。 また、教職員研修の異なる充実を図るべく、学校内での創意工夫した研修を奨励する「校内研修実績指定校事業」を実施し、校内研修の充実が図られている。(6校で実施)
2. 教 職 員 健 康 対 策	教職員の健康診断を次のとおり実施した。 受診人数 336人 5,045,844円 〔胸部X線、胃検査、血圧検査、尿検査、血液検査 心電図検査、聴力検査、身体総合検査〕	教職員の健診を帝広徳州会病院に委託して実施した。 1日当たりの受け入れ人数に制限があるため(1日5人程度)、長期間に渡つて実施している。長期休業期間中に多くの教職員が受診できるよう日程を調整し、継続して実施していくたい。
3. 教 育 の 日 推 進 事 業	音更町の教育の充実と発展を図るため、次のとおり実施した。 事業費797,796円 記念フェスタの参加者約600人	おとふけ「教育を考える日」の理念や趣旨、具体的な取組等を紹介することと、市民の教育への関心を高め、本町教育の充実と発展を図るために、実行委員会に交付金を交付して実施した。教育に関する取組を紹介することで、関心を高める機会となる。平成28年度は前年度と比較して参加人数が約100人増加しており、今後も継続していきたい。
4. 教 材 教 具 の 整 備	小中学校の教材教具を次のとおり整備した。 (単位 円)	新設の普通学級や特別支援学級に必要な教材や、学校を整理した上で教材教具を整備し、教育環境の充実を図っている。 また、吹奏楽の楽器は年次計画で各中学校に整備している。 今後とも計画的に教材教具を整備していく必要がある。
5. 総 合 的 な 学 習 の 時 間 支 援 事 業	総合的な学習の時間として、創意工夫を生かした特色ある学校づくりの推進を図った。	総合的な学習の時間における教育活動において、創意工夫による特色ある学校づくりに資するため、小中学校にその経費を交付している。 今後とも、国際理解・情報・環境・福祉・健康教育等の総合的な教育活動の推進のために必要である。

区 分	学 校 数	整 備 額	(単位 円)
小 学 校	13	11,479,848	
中 学 校	5	3,953,860	
計	18	15,433,708	

区 分	学 校 数	交 付 額	(単位 円)
小 学 校	13	1,479,000	
中 学 校	5	847,000	
計	18	2,326,000	

項目	主な施策	成績	教育委員会の点検・評価																																				
6. 就学援助策	就学困難な児童生徒に対し、次とおり就学援助費を支給した。	<p>(単位 人、円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>支給人数</th> <th>支給額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学用品費</td> <td>915</td> <td>16,850,191</td> </tr> <tr> <td>体育実技用具費</td> <td>266</td> <td>3,082,940</td> </tr> <tr> <td>入学準備金</td> <td>178</td> <td>3,967,060</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費</td> <td>232</td> <td>9,674,713</td> </tr> <tr> <td>通学料</td> <td>11</td> <td>124,099</td> </tr> <tr> <td>P.T.A.会費</td> <td>733</td> <td>2,583,383</td> </tr> <tr> <td>生徒会費</td> <td>339</td> <td>158,780</td> </tr> <tr> <td>クラブ活動費</td> <td>261</td> <td>3,757,546</td> </tr> <tr> <td>医療費</td> <td>559</td> <td>1,786,859</td> </tr> <tr> <td>給食費</td> <td>915</td> <td>42,292,753</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>923</td> <td>84,278,324</td> </tr> </tbody> </table>	区分	支給人数	支給額	学用品費	915	16,850,191	体育実技用具費	266	3,082,940	入学準備金	178	3,967,060	修学旅行費	232	9,674,713	通学料	11	124,099	P.T.A.会費	733	2,583,383	生徒会費	339	158,780	クラブ活動費	261	3,757,546	医療費	559	1,786,859	給食費	915	42,292,753	計	923	84,278,324	就学困難な児童生徒に対し、就学援助をするにより、経費負担の軽減を図っている。 対象者は認定基準倍率を上げたため73人の増となり、支給額も約480万円の増となつた。今後とも保護者負担の軽減ため、継続していくことが必要である。
区分	支給人数	支給額																																					
学用品費	915	16,850,191																																					
体育実技用具費	266	3,082,940																																					
入学準備金	178	3,967,060																																					
修学旅行費	232	9,674,713																																					
通学料	11	124,099																																					
P.T.A.会費	733	2,583,383																																					
生徒会費	339	158,780																																					
クラブ活動費	261	3,757,546																																					
医療費	559	1,786,859																																					
給食費	915	42,292,753																																					
計	923	84,278,324																																					
7. 奨学資金	高校在学者で家庭の経済的な理由により就学困難な者に対し、奨学資金を支給した。	<p>(単位 人、円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>支給人数</th> <th>奨学資金</th> <th>支給総額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通年(公立高校)</td> <td>83</td> <td>月額 6,500</td> <td>6,474,000</td> </tr> <tr> <td>通年(私立高校)</td> <td>29</td> <td>月額 10,000</td> <td>3,480,000</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>112</td> <td></td> <td>9,954,000</td> </tr> </tbody> </table>	区分	支給人数	奨学資金	支給総額	通年(公立高校)	83	月額 6,500	6,474,000	通年(私立高校)	29	月額 10,000	3,480,000	計	112		9,954,000	高校在学者であつて、経済的な理由によって就学困難な高校生に奨学金を支給している。 平成27年度から支給対象者を増員し、支給単価を公立高校を月当たり6千5百円、私立高校を月当たり1万円を限度に実施している。																				
区分	支給人数	奨学資金	支給総額																																				
通年(公立高校)	83	月額 6,500	6,474,000																																				
通年(私立高校)	29	月額 10,000	3,480,000																																				
計	112		9,954,000																																				
8. 教育施設の整備	教育施設の整備を次のとおり実施した。	<p>(単位 円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事名等</th> <th>工事費等</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>綠陽台小学校暖房設備改修工事</td> <td>9,612,000</td> <td>温水ボイラー更新 配管更新 1基</td> </tr> <tr> <td>共栄中学校暖房設備改修工事</td> <td>19,710,000</td> <td>温水ボイラー更新 配管及び自動制御設備更新 1基</td> </tr> </tbody> </table>	工事名等	工事費等	内 容	綠陽台小学校暖房設備改修工事	9,612,000	温水ボイラー更新 配管更新 1基	共栄中学校暖房設備改修工事	19,710,000	温水ボイラー更新 配管及び自動制御設備更新 1基																												
工事名等	工事費等	内 容																																					
綠陽台小学校暖房設備改修工事	9,612,000	温水ボイラー更新 配管更新 1基																																					
共栄中学校暖房設備改修工事	19,710,000	温水ボイラー更新 配管及び自動制御設備更新 1基																																					

項目	主な施策	成績	教育委員会の点検・評価
木野東小学校校舎内部改修建築主体工事	駒場中学校暖房設備改修工事	15,465,600 温水ボイラーアップ及び自動制御設備更新 21,168,000 隅下改修、階段室改修、昇降口外	(既存施設の改修及び保全)
木野東小学校校舎内部改修電気設備工事	木野東小学校校舎内部改修機械設	13,446,000 幹線設備、動力設備、放送設備、電灯設備ほか、屋内給排水設備、衛生器具設備、給湯設備、消防設備ほか、	暖房設備についても更新の時期を迎えているものが多く存在するため、他の学校でも計画的に修繕や設備の更新等を図つてい
木野東小学校校舎内部改修工事	木野東小学校校舎内部改修工事監理業務	21,330,000 1,370,000 工事監理・指導監督 音更小学校ほか1校煙突アスベス	昭和小学校ほか1校煙突アスベス改修工事
柳町小学校地下燃料タンクライニシング工事	音更小学校煙突アスベス改修工事	30,996,000 音更小学校煙突アスベス改修2本 駒場中学校煙突アスベス改修1本 昭和小学校内運動場煙突改修 1本 木野東小学校煙突改修 1本 地下燃料タンク内部FRPライニシング工事(15KL)	木野東小学校煙突改修工事
鈴蘭小学校ほか給食室自動手洗器設置工事	柳町小学校内運動場煙突アスベス改修工事	14,040,000 鈴蘭小、東士狩小、共栄中 給食室自動手洗器設置 3,024,000 3,736,800 1,485,000 529,200	昭和小学校内運動場煙突改修工事
緑南中学校屋内運動場パネルヒーター更新工事	緑陽台小学校ルーフドレン配管修繕工事	ペネルヒーター更新 1台 ルーフドレン配管修繕 4か所 南中音更小学校水泳プール上屋シート、昭和上屋シート等更新工事	(老朽化した学校の大規模改修)
下音更小学校水槽塗装工事	下音更小学校水槽塗装工事	4,266,000 南中音更小学校水泳プール上屋シート、昭和上屋シート等更新 4,374,000 水泳プール水槽塗装	老朽化が深刻な木野東小学校校舎について、平成26年度から継続して大規模改修事業を実施している。平成28年度は廊下や階段のほか、昇降口の外部床改修等を行つた。これまでも、空調改修やトイレ改修及び、普通教室や給食室の内部改修等を行つており、今後も計画的に改修や設備等の更新を行い、建物の保全及び延命を図つていく。
機ろ材更新工事	下音更小学校水槽塗装工事	1,166,400 下音更小、木野東小、柳町小、水泳機ろ材更新 3,024,000 下音更小、東士狩小、防火シャッター機械式危害防止装置設置 3か所	(学校施設の石綿対策)
東士狩小学校屋内運動場外壁塗装改修工事	緑陽台小学校外壁塗装改修工事	31,428,000	石綿付アスベスト等に加え、アスベストを含有する張り付けられた保溫材、耐火被覆材、断熱材が追加された。これを受け、児童生徒等の安全対策に万全を期すため、平成27年度に調査を実施した結果、4校の煙突5本から石綿断熱材が検出された。平成28年度は、その5本の煙突全てにおいて、改修工事を実施することができた。
各小学校遊具再整備工事	各小学校遊具再整備工事	896,400 音更小学校ほか5校 遊具塗装改修 音更小学校工事	

項目	主要な施策	成果				教育委員会の点検・評価
		工事	事業	名	実績	
下音更小学校加压給水ポンプ更新工事	下音更小学校加压給水ポンプ更新工事	1,963,440	加压給水ポンプ更新	1基		
下音更中学校グラウンド防球ネット張替業務	下音更中学校グラウンド防球ネット張替業務	2,840,400	防球ネット	25枚		
下音更中学校ソフトボール場防球ネットフェンス設置工事	下音更中学校ソフトボール場防球ネットフェンス設置工事	4,879,518	防球ネット及び設置 防球ネットフェンス門扉設置	L40m H5m 1基		
音更小学校ほか網戸整備事業	音更小学校ほか網戸整備事業	4,244,400	音更小学校網戸	111枚 緑陽台小学校 網戸 107枚		
小中学校屋内消火栓ホース耐圧試験委託業務	小中学校屋内消火栓ホース耐圧試験委託業務	993,600	屋内消火栓ホース耐圧試験	234本		
緑陽台小学校グラウンド照明回路漏電調査	緑陽台小学校グラウンド照明回路漏電調査	162,000	グラウンド照明回路漏電調査			
東士狩小学校ほか暖房設備改修設計業務	東士狩小学校ほか暖房設備改修設計業務	1,112,400	昭和小校舎・屋内運動場、東士狩小屋内運動場暖房設備改修設計			
共栄中学校校舎ほか外壁塗装等改修設計業務	共栄中学校校舎ほか外壁塗装等改修設計業務	804,600	音更小校舎外壁塗装改修設計 共栄中校舎外壁塗装改修設計			
計	計	228,846,158				
音更町公立学校等施設整備計画事業期間 平成27年度～						
						平成27年度第1次補正予算を継越し、老朽化が深刻な緑陽台小学校の更新を行い、建物の保全及び延命を図つていく。
学 校 名	整 備 区 分	事 業 名	建 物 区 分	構 造 区 分	事 業 実 施 の 有無	竣 工 年 月 日
緑陽台小学校	③	大規模改造(空調)	校	-	○	平成28年10月5日

・教育環境の質的な向上を図る整備

【達成状況】

- 計画どおり実施できた。
- 計画したが、一部実施できなかった。
- 計画したが、すべて実施できなかった。

項目	目 主 要 な 施 策	成 果	教育委員会の点検・評価															
9. 教員住宅の整備	教員住宅の整備を次のとおり実施した。	(単位 円)																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>工事名</th> <th>工事費</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教員住宅温水ボイラーアップ工事</td> <td>2,042,280</td> <td>温水ボイラーアップ工事</td> </tr> <tr> <td>教員住宅屋根塗装工事</td> <td>1,890,000</td> <td>屋根塗装</td> </tr> <tr> <td>教員住宅浴室ほか改修工事</td> <td>4,838,400</td> <td>浴室改修ほか</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>8,770,680</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	工事名	工事費	内 容	教員住宅温水ボイラーアップ工事	2,042,280	温水ボイラーアップ工事	教員住宅屋根塗装工事	1,890,000	屋根塗装	教員住宅浴室ほか改修工事	4,838,400	浴室改修ほか	計	8,770,680		
工事名	工事費	内 容																
教員住宅温水ボイラーアップ工事	2,042,280	温水ボイラーアップ工事																
教員住宅屋根塗装工事	1,890,000	屋根塗装																
教員住宅浴室ほか改修工事	4,838,400	浴室改修ほか																
計	8,770,680																	
10. 開かれた学校づくり	信頼される開かれた学校づくりに向けて次のとおり実施した。 ・学校評議員の委嘱 (小学校58人、中学校22人) ・小規模特認校制度導入 (昭和小学校)		<p>信頼された「学校評議会」及び情報の発信に努め、学校評議員を活用した「学校評議会」及び情報の発信に努め、学校・地域・家庭のより一層の連携協力を強めていく。ただし、駒場中学校においてはコミュニケーション・スクールへの移行を検討する。</p> <p>また、昭和小学校の小規模特認校制度については平成19年度から導入しており、平成28年度は7人が通学。今後とも制度のPRに努めていきたい。</p>															
11. いじめ等の対策	いじめ問題等対策委員会を設置して、全小中学校でアンケート調査を実施し、調査結果をまとめた「いじめに対する実態調査」を教職員に配付した。 また、平成25年度末に各学校において、「いじめ防止基本方針」を制定し、平成27年度には「音更町いじめ防止基本方針」を策定した。なお、平成25年度からハイペーQ Uアンケートを実施し、いじめ等の早期発見に効果を上げている。		<p>アンケート調査を基に、ネット上のいじめ等も含め、いじめの実態把握に取り組んでいる。</p> <p>また、校内体制の充実を図り、適応指導教室や心の教室相談員等と連携しながら、いじめ・不登校に対しても、早期発見・早期解決に取り組んでいる。</p>															
12. 児童生徒の安全確保	児童生徒の安全確保対策として次のとおり実施した。 ・新入学児童への防犯ブザーの配付 ・巡回強化のための用具購入（蛍光反射腕章） ・全小中学校にAED（自動体外式除細動器）を配置		<p>登下校時の通学路の安全対策については、各学校ごとに地元ぐるみで子どもを見守る取組が進められている。</p> <p>また、AEDは、平成19年度に全中学校に、平成22年度に全小学校に配置し、教職員に対しては普通救命講習を実施し、操作方法等の研修を行った。</p> <p>今後も、児童生徒の安全確保の観点から継続していきたい。</p>															

項目	成績	教育委員会の点検・評価
主要な施策		
13. 情報教育	小中学校に教育用コンピュータを整備し、児童生徒が基礎的操作の習得並びに情報化時代に対応できるような教養教育を実施した。 次の学校のコンピュータ整備を実施した。 整備校 柳町小学校、緑陽台小学校	コンピュータ整備については、小学校は4人に1台、平成20年度から2人に1台で整備している。中学校は1人に1台で整備している。 小学校については2人に1台での整備を平成23年度で完了し、平成26年度からは1人1台の整備を行っている。
14. 國際理解教育	英語指導助手を配置し、中学校における生徒に対する英語の発音指導のほか、小学校における英会話の補助及び地域における国際交流活動等の活動を行っている。 英語指導助手 1人 小学校の外国语活動については、外部サポート講師を全小学校に派遣した。	英語指導助手については、契約期間を1年間とし、更新を認めている。小中学校をはじめ、社会人の英会話教室や国際交流の集いなど幅広く活用されており、今後も継続していただきたい。外部サポート講師についても、新たな学習指導要領の改訂による外国语活動においても継続していただきたい。
15. 食育	生涯にわたって健康で生き生きとした生活を送ることを目指し、児童生徒に対し食品の品質や安全性などを自らが判断できる能力の育成を図っている。 十勝管内で唯一の自校給食では、地産地消と食育推進のために、おとぶけ給食などを実施しており、児童生徒から好評を得ている。	本町の学校給食は、地場産品の割合が高いが、今後とも食育の充実を図るとともに、食品の安全・安心に継続して取り組む必要がある。 栄養教諭 4人の体制で、食育の充実を図っている。
16. 特別支援教育	肢体不自由学級及び病弱学級児童生徒のうち、特に介助が必要であるものに対し、平成23年度より生活介助員を訪問介護事業所に業務委託し派遣した。 通常学級には引き続き学習支援員を配置した。 平成25年度より複式学習支援員を配置した。 ・生活介助員 5校 ・学習支援員 13校 30人 ・複式教育学習支援員 5校 2人	今後とも、特別支援学級での肢体不自由等の障がいがある児童生徒の学校生活を介助するため、生活介助員の配置が必要である。 平成20年度から導入した学習支援員は、通常学級における発達障害等により特別な支援を要する児童生徒に対して支援を行っており、平成28年度も引き続き30人を配置した。 また、平成25年度から複式学校に複式学習支援員を配置し、複式学級の児童の指導補助を行い、学力向上の効果をあげている。

項目	主な施設	成績	教育委員会の点検・評価																																	
社会教育事業 1. 青少年教育事業	団体活動を奨励し、体験学習の充実と指導者の養成を図り、青少年の健全育成に努めた。	<p>(単位 人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業</th> <th>業名</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>こども姉妹町視察研修</td> <td>(岩手県軽米町)</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>こども会リーダー研修会</td> <td>(夏期・冬期)</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>秋山ハイキング</td> <td></td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>こども会世話人研修会</td> <td>(前期・後期)</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>こども体験隊</td> <td></td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>小・中学生のための出前ものづくり教室</td> <td></td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>熟年先生講座</td> <td>(夏期・冬期)</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>国際交流のつどい</td> <td></td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>北部3町ジュニアリーダーズキャンプ</td> <td></td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>成人式</td> <td></td> <td>380</td> </tr> </tbody> </table>	事業	業名	参加人数	こども姉妹町視察研修	(岩手県軽米町)	27	こども会リーダー研修会	(夏期・冬期)	47	秋山ハイキング		15	こども会世話人研修会	(前期・後期)	58	こども体験隊		24	小・中学生のための出前ものづくり教室		10	熟年先生講座	(夏期・冬期)	46	国際交流のつどい		22	北部3町ジュニアリーダーズキャンプ		6	成人式		380	<p>こども姉妹町視察研修は、小学生の相互交流事業として定着し、28年度は、校体不自由児（車椅子）1名が学級担任教諭の帯同のもとで参加をし、他の児童の協力も得ながら無事に研修を終えた。今後も継続が必要と考えている。</p> <p>各種ごとに会事業は、地域とともに少年の健全育成を図ることを目的に実施しているが、ここ数年、単位ごとも会の体会が児童の要因はアンケート結果から明らかで、児童にしか行き渡つが必須である。</p> <p>共働き世帯の増加等により、児童の周知もしくは会事業では公平性を欠くことから、今後の抜本的改革が必要である。</p> <p>先生講座（北十勝高校長教頭会共催）、国際交流のつどいは、様々な体験活動を通して豊かな情操や健全な身体の育成を図るなど、生徒たちとの交流を通してコミュニケーション能力を図りながら今後も継続が必要である。</p> <p>なお、上士幌町・士幌町と連携した新規事業「北部3町ジュニアリーダーズキャンプ」を実施し、他町の子どもたちとの交流を通じて、心を育むことを目的に今後も継続した取組としていくものである。</p> <p>新成人式は、新成人に対する意識及び認識をもつもらう機会として実施された社会人としての意識として実施する第二部とともに今後も継続が必要である。</p>
事業	業名	参加人数																																		
こども姉妹町視察研修	(岩手県軽米町)	27																																		
こども会リーダー研修会	(夏期・冬期)	47																																		
秋山ハイキング		15																																		
こども会世話人研修会	(前期・後期)	58																																		
こども体験隊		24																																		
小・中学生のための出前ものづくり教室		10																																		
熟年先生講座	(夏期・冬期)	46																																		
国際交流のつどい		22																																		
北部3町ジュニアリーダーズキャンプ		6																																		
成人式		380																																		

項目	成 果	教育委員会の点検・評価																																
2. 青少年対策	<p>放課後子ども教室の開設や青少年の健全育成を図るため、巡視指導活動や不審者情報の提供、通報・悩み相談等を行い、関係機関と連携して非行防止に努めた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対策</th> <th>内容</th> <th>実施回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>放課後子ども教室の実施</td> <td>音更小 駒場小 柳町小</td> <td>20回 19回 17回 16回</td> <td>36人 47人 27人 35人</td> </tr> <tr> <td>巡回指導活動</td> <td></td> <td>巡回指導</td> <td>延469回</td> </tr> <tr> <td>有害環境の浄化活動</td> <td></td> <td>随時実施</td> <td>延1,199人</td> </tr> <tr> <td>通報活動・青少年悩み相談</td> <td></td> <td>通報 相談</td> <td>25件 7件</td> </tr> <tr> <td>広報活動</td> <td></td> <td>広報紙発行 広報車運行</td> <td>12回 随時</td> </tr> <tr> <td>研修活動</td> <td></td> <td>会議・研修会</td> <td>17回</td> </tr> <tr> <td>関係機関・団体との連携</td> <td></td> <td>派遣 学校訪問</td> <td>12回 年3回</td> </tr> </tbody> </table>	対策	内容	実施回数	参加人数	放課後子ども教室の実施	音更小 駒場小 柳町小	20回 19回 17回 16回	36人 47人 27人 35人	巡回指導活動		巡回指導	延469回	有害環境の浄化活動		随時実施	延1,199人	通報活動・青少年悩み相談		通報 相談	25件 7件	広報活動		広報紙発行 広報車運行	12回 随時	研修活動		会議・研修会	17回	関係機関・団体との連携		派遣 学校訪問	12回 年3回	<p>平成28年度新規事業の放課後子ども教室は、教育委員会が主催で実施するもので、放課後に小学校の体育館等を活用し、児童の自主性・創造性・創造性等を養うための安全・安心をめぐらしくしていいる。町内4小学校で放課後子ども教室を開設するところを目標としている。巡回指導は、生涯学習センターを拠点に、今後も地域との連携をしており、今後も全小学校で巡回指導を図る必要がある。</p> <p>通報等について、子どもたちの安全を守る活動として、学校と教員会で毎日時間に開設なく不審者情報等と連携している。育委員会で毎月連絡網を整備し、関係機関等と連携することで、生涯学習センターを拠点に、その大半は声かけつきまで事務室指導員と連携しながら活動しておらず、地域ぐるみで子どもたちの安全確保を図る必要がある。</p> <p>27年度と比較して通報は9件増え、その中に、より多くの中、より多くの町民に読んでもらえる紙面づくりに努め、今後も継続して家庭・学校を通して周知していく必要がある。</p>
対策	内容	実施回数	参加人数																															
放課後子ども教室の実施	音更小 駒場小 柳町小	20回 19回 17回 16回	36人 47人 27人 35人																															
巡回指導活動		巡回指導	延469回																															
有害環境の浄化活動		随時実施	延1,199人																															
通報活動・青少年悩み相談		通報 相談	25件 7件																															
広報活動		広報紙発行 広報車運行	12回 随時																															
研修活動		会議・研修会	17回																															
関係機関・団体との連携		派遣 学校訪問	12回 年3回																															
3. 成人教育事業	<p>学習の場と機会を提供し、計画的・継続的学習を進めるとともに、団体の自主的活動の助長に努めた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家庭教育学級(18学級)</td> <td>2,395</td> </tr> <tr> <td>幼児家庭教育学級</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>女性ライフル</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>高齢者学級(4学級)</td> <td>407</td> </tr> <tr> <td>高齢者大学(すずらんカレッジ:4学年)</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>高齢者大学院(すずらん大学院:2学年)</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>家庭教育電話相談</td> <td>0件</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	参加人数	家庭教育学級(18学級)	2,395	幼児家庭教育学級	22	女性ライフル	39	高齢者学級(4学級)	407	高齢者大学(すずらんカレッジ:4学年)	48	高齢者大学院(すずらん大学院:2学年)	31	家庭教育電話相談	0件	<p>各家庭教育学級は、幼児・中小学生の保護者の子育てを支援するなども向上のため、今後も継続が必要である。児童生徒ににおける知識・能力を身に付ける学習の場を提供できている。</p> <p>女性ライフルは、生活課題の解決や資質向上、地域での役割を醸成するためには、今後も必要である。</p> <p>各種高齢者教室は、社会の変化に対応するどとともに、今後も必要な事務は、子育てを支援する取組を実施するもので、今後も必要である。</p> <p>各種子育て支援相談事業は、子育てにおける問題解決に向けた有効な事業である。今後も継続していくことが必要である。</p> <p>なお、指導員が直接対応する電話相談については平成28年度の実績は0件であった。</p>																
事業名	参加人数																																	
家庭教育学級(18学級)	2,395																																	
幼児家庭教育学級	22																																	
女性ライフル	39																																	
高齢者学級(4学級)	407																																	
高齢者大学(すずらんカレッジ:4学年)	48																																	
高齢者大学院(すずらん大学院:2学年)	31																																	
家庭教育電話相談	0件																																	

項目	成 果	教育委員会の点検・評価																
4. 生涯学習事業 主 要 な 施 策	<p>生涯学習への認識を深めるとともに、町内高等教育機関等との連携による学習機会の提供を図った。</p> <table border="1" data-bbox="314 898 727 1785"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生涯学習フェスティバル</td> <td>2,400</td> </tr> <tr> <td>○OJCオープンカレッジ（音更町・帯広大谷短期大学共同生涯学習プログラム事業）</td> <td>2,151</td> </tr> <tr> <td>○OJCオープンカレッジ小学生講座（3講座）</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>高校開放講座（13講座） (音更町・音更高等学校連携生涯学習プログラム事業)</td> <td>185</td> </tr> <tr> <td>生涯学習まちづくりセミナー（道民カレッジ連携講座事業）</td> <td>125</td> </tr> </tbody> </table> <p>社会の変化に対応し心豊かに生きていこうために、自己学習や世代間・地域間交流の促進を図った。</p> <table border="1" data-bbox="854 898 997 1785"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生涯学習講座（6講座）</td> <td>85</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	参加人数	生涯学習フェスティバル	2,400	○OJCオープンカレッジ（音更町・帯広大谷短期大学共同生涯学習プログラム事業）	2,151	○OJCオープンカレッジ小学生講座（3講座）	27	高校開放講座（13講座） (音更町・音更高等学校連携生涯学習プログラム事業)	185	生涯学習まちづくりセミナー（道民カレッジ連携講座事業）	125	事業名	参加人数	生涯学習講座（6講座）	85	<p>生涯学習フェスティバルは、生涯学習を実践する各種団体による実行委員会形式のイベントであり、貴重な学習発表の場である。参加人數も平成27年度並みの水準となり、今後も継続が必要である。</p> <p>○OJCオープンカレッジ、高校開放講座は、帯広大谷短期大学及び音更高校と共同で実施する学習講座であり、高等教育資源活用として極めて有効な事業であり、今後も住民ニーズに対応した、継続した魅力ある事業（学習機会）を提供することが必要である。</p> <p>生涯学習まちづくりセミナーは、生涯学習によるまち（地域）づくり、人づくりをめざした事業（学習講座）であり、今後のまちづくりを進める上で住民と行政が、相互信頼関係を構築し、生涯学習を通過した住民参加と協働によるまちづくりを推進していくことが有効な事業であり、今後も継続が必要である。</p> <p>生涯学習講座は、実用講座、調理講座、芸術講座、趣味講座、語学講座、コミュニケーションの増進を促す講座など住民ニーズや資質の向上、また、文化的生活を支援していくもので、今後も継続が必要である。</p>
事業名	参加人数																	
生涯学習フェスティバル	2,400																	
○OJCオープンカレッジ（音更町・帯広大谷短期大学共同生涯学習プログラム事業）	2,151																	
○OJCオープンカレッジ小学生講座（3講座）	27																	
高校開放講座（13講座） (音更町・音更高等学校連携生涯学習プログラム事業)	185																	
生涯学習まちづくりセミナー（道民カレッジ連携講座事業）	125																	
事業名	参加人数																	
生涯学習講座（6講座）	85																	

項目	主な施策	成果	教育委員会の点検・評価																					
5. 文化・芸術事業	<p>芸術鑑賞や発表の機会を提供するなど豊かな心を養うとともに、各文化団体と協力、連携し、芸術文化の奨励と向上に努めた。</p> <p>(芸術大会参加補助金) 芸術文化大会参加補助は、芸術文化部門において優秀な成績を収めた者に対して補助しているもので、芸術文化の奨励と向上を図るために、今後も継続が必要である。</p> <p>(中学生のための音楽教室・小学生芸術鑑賞会) 今後も情操教育の一環として継続する必要がある。</p> <p>(文化祭) 芸能発表会や作品展示会を通じて人々に交流の場を広げ、地域に根ざした芸術文化活動を促進した。今後も活動を通じて人づくり・まちづくりを進めるために継続する必要がある。</p> <p>(文化センター開館30周年記念事業) 平成28年度は、文化センターが開館し、30周年の節目の年に当たったことから記念事業として、NHK公開番組（「新BS日本」のうたたなし）や色紙展、座談会を実施するとともに文化事業協会、文化協会と協力連携し各種記念事業に取り組み、多くの人が良い評価をいただいた。</p> <p>(芸術鑑賞事業) 文化事業協会と連携し、児童向け鑑賞事業、演劇鑑賞事業やクリシックコンサートなどの音楽鑑賞事業を実施し、各ジャンルで質の高い鑑賞事業を展開した。文化センター舞台機構更新工事に伴う一部休館（約3か月）の影響により、平成27年度と比較し2,760人の減少となった。事業費の削減もあるが、今後も鑑賞機会の充実を目指して取り組む必要がある。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業</th> <th>名</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芸術大会参加補助金 (全道個人1件、全道団体2件、全国個人3件、全国団体5件)</td> <td></td> <td>81</td> </tr> <tr> <td>中学生のための音楽教室（文化センター開館30周年記念事業）</td> <td></td> <td>1,070</td> </tr> <tr> <td>小学生芸術鑑賞会（文化センター開館30周年記念事業）</td> <td></td> <td>1,599</td> </tr> <tr> <td>文化祭（文化センター開館30周年記念事業）</td> <td></td> <td>5,751</td> </tr> <tr> <td>文化センター開館30周年記念事業（町主催事業及び文化協会との連携事業）</td> <td></td> <td>4,001</td> </tr> <tr> <td>芸術鑑賞事業（事業協会との連携事業「文化センター開館30周年記念事業」）15事業</td> <td></td> <td>7,472</td> </tr> </tbody> </table>	事業	名	参加人数	芸術大会参加補助金 (全道個人1件、全道団体2件、全国個人3件、全国団体5件)		81	中学生のための音楽教室（文化センター開館30周年記念事業）		1,070	小学生芸術鑑賞会（文化センター開館30周年記念事業）		1,599	文化祭（文化センター開館30周年記念事業）		5,751	文化センター開館30周年記念事業（町主催事業及び文化協会との連携事業）		4,001	芸術鑑賞事業（事業協会との連携事業「文化センター開館30周年記念事業」）15事業		7,472	
事業	名	参加人数																						
芸術大会参加補助金 (全道個人1件、全道団体2件、全国個人3件、全国団体5件)		81																						
中学生のための音楽教室（文化センター開館30周年記念事業）		1,070																						
小学生芸術鑑賞会（文化センター開館30周年記念事業）		1,599																						
文化祭（文化センター開館30周年記念事業）		5,751																						
文化センター開館30周年記念事業（町主催事業及び文化協会との連携事業）		4,001																						
芸術鑑賞事業（事業協会との連携事業「文化センター開館30周年記念事業」）15事業		7,472																						

項目	主な施設	成績	教育委員会の点検・評価																																						
6. 文化センター利用状況	<p>事業別</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>鑑賞会</th> <th>修習会</th> <th>サーカル活動</th> <th>講座</th> <th>その他</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>43,203</td> <td>6,835</td> <td>6,267</td> <td>810</td> <td>5,053</td> <td>62,168</td> </tr> </tbody> </table> <p>各部屋別</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>大ホール</th> <th>小ホール</th> <th>楽屋1~3</th> <th>音楽室</th> <th>会議室</th> <th>実習室</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>34,814</td> <td>8,775</td> <td>1,536</td> <td>4,078</td> <td>2,949</td> <td>2,287</td> <td></td> </tr> <tr> <td>%</td> <td>56.00%</td> <td>14.11%</td> <td>2.47%</td> <td>6.56%</td> <td>4.74%</td> <td>3.68%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※展示催し物広場：1,403人（2.26%）</p>	内容	鑑賞会	修習会	サーカル活動	講座	その他	計	人数	43,203	6,835	6,267	810	5,053	62,168		大ホール	小ホール	楽屋1~3	音楽室	会議室	実習室	計	人数	34,814	8,775	1,536	4,078	2,949	2,287		%	56.00%	14.11%	2.47%	6.56%	4.74%	3.68%		<p>鑑賞会や発表会、講習会、各種サークル活動等に幅広く利用されており、住民の身近な施設としての役割りを果たしている。今後も施設の適正な維持管理に努め、利用しやすい施設づくりを目指す。</p> <p>平成28年度は、舞台機構更新工事（1期）及び自動火災報知設備更新工事を実施した。</p>	
内容	鑑賞会	修習会	サーカル活動	講座	その他	計																																			
人数	43,203	6,835	6,267	810	5,053	62,168																																			
	大ホール	小ホール	楽屋1~3	音楽室	会議室	実習室	計																																		
人数	34,814	8,775	1,536	4,078	2,949	2,287																																			
%	56.00%	14.11%	2.47%	6.56%	4.74%	3.68%																																			
7. 図書、視聴覚の振興	<p>(1) 図書館の利用状況</p> <p>①図書の貸出状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>貸出冊数</th> <th>貸出人數等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図書館</td> <td>216,769</td> <td>51,499人</td> </tr> <tr> <td>分館</td> <td>24,669</td> <td>6,839人</td> </tr> <tr> <td>団体</td> <td>37,943</td> <td>854件</td> </tr> <tr> <td>市町村連携貸出</td> <td>478</td> <td>304件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>279,859</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>②視聴覚教材の貸出状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>貸出件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教材（ビデオ・DVD・CD）</td> <td>9,153</td> </tr> </tbody> </table>	区分	貸出冊数	貸出人數等	図書館	216,769	51,499人	分館	24,669	6,839人	団体	37,943	854件	市町村連携貸出	478	304件	計	279,859		区分	貸出件数	教材（ビデオ・DVD・CD）	9,153	<p>平成27年度と比較して入館者数・貸出冊数のいずれも増加している。年代別にみてみると、中高生と40代から50代の世代でわずかに減少しているが小学生の貸出がが増えています。また、移動文庫や学級文庫との貸出が増加しており、移動文庫や学級文庫といつた事業が小学生の読書活動の推進を促していると考えられる。今後も事業を継続していくとともに、中高生や幅広い世代の利用促進のための情報発信していく必要がある。</p>																	
区分	貸出冊数	貸出人數等																																							
図書館	216,769	51,499人																																							
分館	24,669	6,839人																																							
団体	37,943	854件																																							
市町村連携貸出	478	304件																																							
計	279,859																																								
区分	貸出件数																																								
教材（ビデオ・DVD・CD）	9,153																																								

項目	成 索	教育委員会の点検・評価
主 要 な 施 策		
③図書館（本館）の入館者数	102,138人	
④図書館の蔵書冊数等		
	(単位 冊)	
	平成28年度図書等受入数 購 入 寄 贈 等 計	除籍冊数等 蔵書冊数等
	5,781 1,503 7,284	3,888 205,760
(2) 図書館事業の実施状況	事業名	参加人数等
読書感想文コンクール		207人
図書交換会		190人
古雑誌市		131人
古本市		334人
子ども映画会		126人
絵本作家講演会		125人
芸術鑑賞講座		66人
文学講座		31人
工作教室		57人
親子図書館見学会		8組18人
ロビーコンサート		177人
文庫設置		小学校13校・学童保育所8カ所
ブックスタート		329組
ブックスタートプラス		372組
リーディングスタート		407組

項目	主な施策	成績	教育委員会の点検・評価																																		
社会体育の振興	1. 体力づくり、健康づくりの振興	<p>楽しく継続的に体力づくりを実践する態度を育て、健康の維持増進に努めた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○スポーツライフ</td> <td>115</td> </tr> <tr> <td>・幼児たいそう教室（幼児教育）</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>・チャレンジスポーツ教室（少年教育）</td> <td>73</td> </tr> <tr> <td>・いきいき女性軽スポーツ教室（成人教育）</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>・40歳～65歳までの軽スポーツ教室（成人教育）</td> <td>76</td> </tr> <tr> <td>・高齢者スポーツ学級（成人教育）</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	事業名	参加人数	○スポーツライフ	115	・幼児たいそう教室（幼児教育）	38	・チャレンジスポーツ教室（少年教育）	73	・いきいき女性軽スポーツ教室（成人教育）	20	・40歳～65歳までの軽スポーツ教室（成人教育）	76	・高齢者スポーツ学級（成人教育）		<p>(スポーツライフ)</p> <p>総合体育館と温水プールでは、幼児から高齢者まで幅広い年齢の方々に運動やスポーツに親しむ機会を提供するため、各種事業を継続的に開催している。</p> <p>スポーツライフでは、中・長期の教室等を実施しており、少年教育の教室は平成27年度より26%程度増加しているが、幼児、成人教育の教室では、横ばいや微減の傾向がある。</p>																				
事業名	参加人数																																				
○スポーツライフ	115																																				
・幼児たいそう教室（幼児教育）	38																																				
・チャレンジスポーツ教室（少年教育）	73																																				
・いきいき女性軽スポーツ教室（成人教育）	20																																				
・40歳～65歳までの軽スポーツ教室（成人教育）	76																																				
・高齢者スポーツ学級（成人教育）																																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○スポーツ教室</td> <td>449</td> </tr> <tr> <td>・ごども体操教室</td> <td>306</td> </tr> <tr> <td>・こどもH.I.P.H.O.P教室</td> <td>217</td> </tr> <tr> <td>・こどもトランボリン教室</td> <td>113</td> </tr> <tr> <td>・バレシューレ教室</td> <td>163</td> </tr> <tr> <td>・短期子供体操教室</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>・ジュニアトランボリン教室</td> <td>49</td> </tr> <tr> <td>・初心者スケート教室</td> <td>1,007</td> </tr> <tr> <td>・こども水泳教室</td> <td>23,714</td> </tr> <tr> <td>・大人水泳教室</td> <td>451</td> </tr> <tr> <td>・短期こども水泳教室</td> <td>277</td> </tr> <tr> <td>・ひみつの特訓</td> <td>161</td> </tr> <tr> <td>・ステップアップ水泳教室</td> <td>1,147</td> </tr> <tr> <td>・ジュニアステップアップ水泳教室</td> <td>239</td> </tr> <tr> <td>・トップステップアップ水泳教室</td> <td>266</td> </tr> <tr> <td>・個人レッスン（大人水泳）</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	事業名	参加人数	○スポーツ教室	449	・ごども体操教室	306	・こどもH.I.P.H.O.P教室	217	・こどもトランボリン教室	113	・バレシューレ教室	163	・短期子供体操教室	20	・ジュニアトランボリン教室	49	・初心者スケート教室	1,007	・こども水泳教室	23,714	・大人水泳教室	451	・短期こども水泳教室	277	・ひみつの特訓	161	・ステップアップ水泳教室	1,147	・ジュニアステップアップ水泳教室	239	・トップステップアップ水泳教室	266	・個人レッスン（大人水泳）		<p>(スポーツ教室)</p> <p>大人向けの教室は平成27年度と比べ30%以上の増加で、こども向けの教室については、平成27年度より体育館の教室は減少傾向でプールの教室は微増の傾向にあり、全体では22%の増となっている。</p> <p>(体力づくり教室)</p> <p>エアロビクスや水中運動など、各年代や体力に応じたプログラムを実施している。各事業とも指定管理者制度により、民間のノウハウを生かした「大人のためのスタジオプログラム」は年々参加者が増加しており、平成19年度当初実績より12,000人超の実績である。</p> <p>リフレッシュエアロ、ひきしめ教室、水中運動、軽運動教室については、ほぼ横ばいとなつた。</p> <p>今後も住民のニーズを把握しながら、プログラムを工夫していくことが必要である。</p>
事業名	参加人数																																				
○スポーツ教室	449																																				
・ごども体操教室	306																																				
・こどもH.I.P.H.O.P教室	217																																				
・こどもトランボリン教室	113																																				
・バレシューレ教室	163																																				
・短期子供体操教室	20																																				
・ジュニアトランボリン教室	49																																				
・初心者スケート教室	1,007																																				
・こども水泳教室	23,714																																				
・大人水泳教室	451																																				
・短期こども水泳教室	277																																				
・ひみつの特訓	161																																				
・ステップアップ水泳教室	1,147																																				
・ジュニアステップアップ水泳教室	239																																				
・トップステップアップ水泳教室	266																																				
・個人レッスン（大人水泳）																																					

項	目	成 果	教育委員会の点検・評価																				
主 要 な 施 策																							
2. 指導者、リーダーの養成	スポーツ指導者及びリーダーを養成するため次のとおり実施した。 (単位 人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・スポーツ少年団リーダー研修会</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>・スポーツ指導者研修会</td> <td>71</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	参加人数	・スポーツ少年団リーダー研修会	7	・スポーツ指導者研修会	71	(スポーツ少年団リーダー研修会) 所属のスポーツ少年団でリーダーとして活動するための自覚と資質の向上を図ることとともに、団相互の交流を深める。 (スポーツ指導者研修会) スポーツ活動の中核となるべき指導者を養成することは極めて重要であることから、研鑽する場を提供していきたい。															
事業名	参加人数																						
・スポーツ少年団リーダー研修会	7																						
・スポーツ指導者研修会	71																						
3. 奨励及び顕彰	スポーツの奨励と向上を図るため次のとおり実施した。 (単位 人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>人 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・スポーツ大会参加補助 (全国 28件)</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td> (全道 87件)</td> <td>256</td> </tr> <tr> <td>・スポーツ賞等表彰 (3団体、20個人)</td> <td>51</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	人 数	・スポーツ大会参加補助 (全国 28件)	42	(全道 87件)	256	・スポーツ賞等表彰 (3団体、20個人)	51	(スポーツ大会参加補助) 全道・全国大会規模のスポーツ競技大会への参加者に対して参加経費の一部を補助している。 (スポーツ賞等表彰) スポーツ賞等は、スポーツ基本法に基づき、毎年スポーツ分野において、優秀な成績を収めた方やスポーツ推進に功績のあつた方を表彰している。													
事業名	人 数																						
・スポーツ大会参加補助 (全国 28件)	42																						
(全道 87件)	256																						
・スポーツ賞等表彰 (3団体、20個人)	51																						
4. 施設の利用状況	(1) 屋内体育施設 (2) 屋外体育施設	(屋内体育施設) 屋内体育施設利用状況は、平成27年度と比較して総合体育館は微減、武道館・温水プールは、ともに微増である。 (屋外体育施設) <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>個別利用件数</th> <th>団体利用件数</th> <th>人件数</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合体育館</td> <td>74,299</td> <td>4,390</td> <td>82,694</td> <td>156,993</td> </tr> <tr> <td>武道館</td> <td>1,708</td> <td>938</td> <td>30,271</td> <td>31,979</td> </tr> <tr> <td>温水プール</td> <td>69,759</td> <td>158</td> <td>5,032</td> <td>74,791</td> </tr> </tbody> </table>	施設名	個別利用件数	団体利用件数	人件数	計	総合体育館	74,299	4,390	82,694	156,993	武道館	1,708	938	30,271	31,979	温水プール	69,759	158	5,032	74,791	(軽スポーツセンター) 軽スポーツセンター利用状況は、鈴蘭、宝来とともに微減である。
施設名	個別利用件数	団体利用件数	人件数	計																			
総合体育館	74,299	4,390	82,694	156,993																			
武道館	1,708	938	30,271	31,979																			
温水プール	69,759	158	5,032	74,791																			

項目	主 要 な 施 策	成 果	教育委員会の点検・評価																											
		(3) 運動公園等	(運動公園)																											
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>施 設 名</th> <th>人 数</th> <th>(単位 人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>希 望 が 丘 野 球 場</td> <td>6,109</td> <td></td> </tr> <tr> <td>柳 町 野 球 場</td> <td>295</td> <td>(中央公園)</td> </tr> <tr> <td>ソ フ ト ボ ー ル 場 (1か所、2面)</td> <td>4,085</td> <td></td> </tr> <tr> <td>サ ッ カ 一 場 (2か所、4面)</td> <td>18,606</td> <td>(柳町、木野)</td> </tr> <tr> <td>テ ニ ス コ ー ト (3か所、10面)</td> <td>6,409</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ア イ ス ホ ッ ケ ー 場</td> <td>3,419</td> <td></td> </tr> <tr> <td>カ ー リ ン グ 場</td> <td>50</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ペ ー ク ゴ ル フ 場 (5コース) (う ち 団 体 利 用)</td> <td>81,958 (14,982)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※有料の希望が丘野球場以外は、団体利用申請に基づく集計。</p>	施 設 名	人 数	(単位 人)	希 望 が 丘 野 球 場	6,109		柳 町 野 球 場	295	(中央公園)	ソ フ ト ボ ー ル 場 (1か所、2面)	4,085		サ ッ カ 一 場 (2か所、4面)	18,606	(柳町、木野)	テ ニ ス コ ー ト (3か所、10面)	6,409		ア イ ス ホ ッ ケ ー 場	3,419		カ ー リ ン グ 場	50		ペ ー ク ゴ ル フ 場 (5コース) (う ち 団 体 利 用)	81,958 (14,982)		運動公園等の利用状況は、希望が丘野球場は38%の増、 カーリング場が25%の増、ソフトボール場は微増、テニス コートは微減、アイスホッケー場が25%の減少でその他河 川敷地にある屋外施設については台風被災のため立入禁止と したため、8月末までの使用となり29~44%の減少とな った。
施 設 名	人 数	(単位 人)																												
希 望 が 丘 野 球 場	6,109																													
柳 町 野 球 場	295	(中央公園)																												
ソ フ ト ボ ー ル 場 (1か所、2面)	4,085																													
サ ッ カ 一 場 (2か所、4面)	18,606	(柳町、木野)																												
テ ニ ス コ ー ト (3か所、10面)	6,409																													
ア イ ス ホ ッ ケ ー 場	3,419																													
カ ー リ ン グ 場	50																													
ペ ー ク ゴ ル フ 場 (5コース) (う ち 団 体 利 用)	81,958 (14,982)																													
		(4) 学校開放事業	(施設全般)																											
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>種目指定開放校(11校)</th> <th>地 域 開 放 校 (10 校)</th> <th>計</th> <th>(単位 人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>74,224</td> <td>14,897</td> <td>89,121</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種目指定開放校(11校)	地 域 開 放 校 (10 校)	計	(単位 人)	74,224	14,897	89,121		気軽に健康づくりやスポーツに取り組むことができる環境は 整備されているが、競技志向の高まりから施設コンディション のグレードアップや施設の新設を望む声も聞かれ、今後の検討 課題となっている。																			
種目指定開放校(11校)	地 域 開 放 校 (10 校)	計	(単位 人)																											
74,224	14,897	89,121																												
5. 指定管理者制度の導入		次の社会体育施設について、指定管理者制度を導入している。 (1) 温水プール 平成18年度～ (2) 総合体育馆・武道館 平成19年度～	平成27年度と比較して総合体育馆の利用は微減であり、武 道館・温水プールの利用者は微増となつてある。 総じて大きな利用状況の変化はなく、平成27年度に統いて 良好な運営状況と認められる。 更なるサービスの提供と、事業の充実に期待したい。																											

4 昨年度の学識経験者からの主な意見と対応状況

意 見	対応状況
<p>【総合評価】</p> <p>施策とその施策に対する具体的な指標や目標値などが統一して示されていないので施策の達成状況や改善を目指す今後の方向性が十分把握できない項目もあった。</p> <p>今後は、全体的に点検・評価の様式や観点を整理・統一するなどして、目標設定、実施活動、自己評価、改善というサイクルの検証のもとに施策を進めていただきたい。</p>	<p>具体的な指標や目標値の設定については、数値化になじまない施策もあるため、統一感を持たせることが難しい面もあるが、目標値や達成状況などを示せるところから検討していきたい。また、各施策において例年どおり実施するのではなく、目標設定、実施活動、自己評価、改善というサイクルを意識して取り組み、様式等の整理について検討したい。</p>
<p>【教育委員会の活動状況】</p> <p>教育委員と事務局職員による町内小・中学校に対する訪問の際、より有益な機会になるよう、児童生徒、保護者、教職員、地域住民などの意見を収集する方法を工夫し、それら意見を反映した教育行政を執行していただきたい。</p> <p>また、平成27年度は前年度から継続して「道徳教育の推進」が重点テーマとして挙げられていることから、今後もテーマを基に意見交換を活発にしてもらいたい。</p>	<p>学校訪問の際、給食の時間に小規模校の児童や教職員の意見を聞くことは可能である。保護者、地域住民、大規模校の児童生徒や教職員などの意見を収集する場を研究していく。また、今後も重点テーマを設定し学校からの情報提供を受けながら、有意義な学校訪問としていく。</p>
<p>【重点的な評価】</p> <p>（確かな学力の向上）</p> <p>全国学力・学習状況調査結果から、「算数（A・B）」の正答率の低さという課題点が明確化したことから、今後は調査結果を踏まえた授業内容の見直しや習熟度に応じて授業外で補助的な学習を行う等の対策が求められる。</p> <p>学力向上を目指す教育委員会や学校などの主な取組はしめされているが、その取組の結果が把握できることから、取組の項目を整理するとともに、項目ごとに取組結果を評価し、今後の目標や方向性が示されるように検討していただきたい。</p>	<p>全国学力・学習状況調査結果を踏まえ、習熟度別授業の実施をはじめ、加配教員や学習支援員による学習指導の充実を図っている。</p> <p>取組の結果や項目の整理を行うとともに、全国学力・学習状況調査の分析・検証を含めて今後の目標や方向性が示せるよう検討していく。</p>

<p>(健やかな体の育成)</p> <p>「体力は「生きる力」の重要な要素の一つ」であり、体力・運動能力も町民の関心の高い項目と考えられる。現状は全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果から把握できるが、昨年度の指摘と同様、本報告書において調査結果を受けた「児童生徒の体力の現状と課題」や「健やかな体の育成の現状と課題」等として分析結果が概観できるよう整理する必要があると考えられる。</p> <p>体力づくりや食に関する年間指導計画の作成に当たっては、実効性があり、具体的な取組内容になるように各学校に対して指導・助言する必要がある。</p> <p>栄養教諭については、勤務校での指導はもちろんのこと、学校間での連携の重要性を踏まえて、勤務校外の小・中学校でも計画的に活用できるよう検討していただきたい。</p> <p>早寝・早起き・朝ごはんの定着、帰宅後の生活習慣については学校生活だけでなく、家庭での規則正しい生活が基盤となるため、PTAとの情報共有・意見交換等の連携した取組は必須であろう。</p> <p>少年団活動や部活動に関わっている教員や外部指導者の負担を軽減するため、人的支援を含め、根本的な解決に向けた取組を期待する。</p>	<p>本報告書において、重点的な評価の「健やかな体の育成」の中の項目として、平成27年度の調査資料ではあるが、小学校5年生と中学校2年生を対象とした全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の分析結果を掲載している。</p> <p>体力づくりや食に関する年間指導計画の作成に当たっては、具体的な取組内容になるように各学校に対して指導・助言に努めていく。</p> <p>栄養教諭については、勤務校以外の小中学校でも活用できるよう連携を図っていく。</p> <p>早寝・早起き・朝ごはんの定着等についてはこれから発達、成長にとって大変重要であることから、学校及びPTAと連携を推進することにより、情報共有、意見交換等を充実させていく。</p> <p>少年団活動、部活動の指導は教職員に頼っているのが実状であり、指導者の負担軽減策を研究していく。</p> <p>アンケート調査による実態の把握の他、学校相談員を配置し、相談体制の強化図っている。今後も関係機関との連携強化も含め対応していく。</p>
---	--

<p>SNSを介したトラブル、ネットいじめ等から児童生徒を守るため、携帯電話やスマートフォンなどの使用については、善悪を判断して使用するよう道徳教育や情報モラル教育などを充実させる必要がある。また、リーフレット作成・配布等を通じ家庭でのルール作りなどを促すとともに、ネットいじめ防止に当たって学校、家庭、地域社会及び関係機関が連携して取り組む必要がある。</p>	<p>SNS等ネット環境については、家庭でのルール作りを支援するとともに、28年度より各学校においてネットパトロールを開始し、ネットトラブルの未然防止に努めるとともに、ネットいじめ防止のため関係機関、連携により取り組んでいく。</p>
<p>欠席が連續する、登校をしぶる等の様子が見られる子どもの心身や状況に応じた早期の関わり、校内での別室学習や適応指導教室（ふれあい教室）の通級等、児童・生徒が安心して学ぶことのできる環境を整えること、さらに子どものリズムに合わせた中・長期的な指導、段階的な関わり、関係機関の情報共有が重要である。また、別室学習の児童生徒がいる学校では、指導者の人的支援の充実を図っていただきたい。</p>	<p>心の教室相談員や適応指導相談員を活用し、児童生徒の不登校に対し早期に対応するとともに、個々の児童生徒の状態に応じた指導、段階的な関わりを行っていくとともに、別室学習の児童生徒のいる学校においては、人的支援の充実を図っていく。</p>
<p>学校が直面する児童生徒及び家庭の課題が複雑化していることから、児童生徒の状況に応じて柔軟な人員配置や人的な支援、心の教室相談員等による相談体制の充実とともに、SSW（スクールソーシャルワーク）の視点を取り入れた支援も求められている。このことから、教員や相談員がより学習会や研修会等に参加できるような雰囲気の醸成にも取り組まれたい。</p>	<p>教員や相談員がより学習会や研修会等に参加できるよう支援を行っていく。</p>
<p>道徳が特別の教科として教育課程に位置付けられるが、その趣旨を事前に各学校に周知徹底するとともに、年間指導計画に基づいて指導がなされるように指導・助言する必要がある。</p>	<p>道徳が特別の教科として、その趣旨を事前に各学校に周知徹底するとともに、年間指導計画に基づいて指導がなされるように指導・助言していく。</p>
<p>【教育行政推進における主要な施策の実施状況】 (文教対策)</p> <p>「校内研修実践指定校事業」については、町内の全ての小・中学校が順次、指定を受けて実践できるようなシステムを検討していただきたい。</p>	<p>年間6校を対象としており、学校からの申請に応じて指定する学校を決定している。今後、すべての学校が指定されるよう検討したい。</p>

<p>おとふけ「教育を考える日」記念フェスタを実施してから数年が経過していることから、趣旨や実施内容などについて再度検討し、更なる内容の充実に努めていただきたい。</p>	<p>平成28年度は前年度と比較して、参加人数が100人程度増加している。今後も町民の教育への関心を高めることができるように取り組んでいく。</p>
<p>(社会教育の振興)</p> <p>「成人教育事業」については、地域のリーダーとしての活動の様子や学びを活かした取組等の実績について、生涯学習まちづくりセミナーのほか、地域に積極的に発信していく必要があろう。</p>	<p>生涯学習まちづくりセミナーのようなイベント的な場で活動の様子や実績などを紹介する機会を創出することは難しいが、広報誌でグループ等を紹介するなど、情報発信に取り組みたい。</p>
<p>「青少年教育事業」については、体験的な活動に参加する青少年の数が減少傾向にあることから、人と関わる体験的な活動を、小・中学生の時期から学校内外で経験させ、継続して将来の豊かな人間関係の構築につながるような施策を検討していただきたい。</p>	<p>平成28年度から新規事業として、上土幌町・士幌町と連携した小学校3~6年生対象の「北部三町ジュニアリーダーズキャンプ」を立ち上げた。今後も継続して青少年の豊かな人間関係の構築につながる施策を模索していきたい。</p>
<p>「図書、視聴覚の振興」については、保育園や幼稚園への情報提供等を強化し、より多くの子どもの読書活動を推進していただきたい。</p>	<p>子どもの読書活動推進計画(第2期)に基づき、子どもたちに読み聞かせができるような絵本や紙芝居などを整備するとともに、図書館で開催しているお話し会の日程をお知らせして参加を促進する。また、図書館の団体貸出制度を利用し、各保育園、幼稚園の子どもたちが多くの絵本などに親しめる環境づくりに努めていく。</p>
<p>大規模小学校における全学級を対象とした学級文庫がたいへん好評であることから、学校の要望を取り入れながら、多くの学級において学級文庫が日常的に活用できるように、さらに工夫をしていただきたい。</p>	<p>平成28年度も前年度と比較して小学生の利用が増えている。移動文庫や学級文庫事業が定着し、小学生の読書活動を促進していると考えられる。このことから、今後も継続して学校との連携を強化し、児童の興味関心のある図書や調べ学習等に役立つ新鮮な資料の情報提供を進め、子どもたちが本に触れる機会の充実を図っていく。</p>

II 学識経験者の意見

帯広大谷短期大学准教授 阿部 好恵

1 教育委員会の活動状況

教育委員会の会議記録から、平成28年度については教育に関する様々な議題の他、人事に関する議案が複数件提出されていたことが伺える。各委員に対して議案・資料等の事前説明を行う等十分な議論が行われるよう事務局側の配慮、環境整備がなされ審議されていたものと考えられる。

また、教育委員と事務局職員による町内全小・中学校に対する訪問が継続的に実施されており、現場に出向き、教育環境の実状を把握した上で、学校運営の現状や課題等に関する情報交換等を行っていることについて評価したい。平成28年度は、児童生徒を取り巻く時事的課題を反映させ、SNSに関連するトラブルの予防等を目的とした「情報モラル教育の取り組み状況」を重点テーマとして訪問しており、今後もテーマを基に意見交換を活発なものとし、各学校の課題に対する助言・指導を期待する。なお、継続しているが故に訪問が形骸化せぬよう、各学校の状況に応じた、より学内の実態把握や児童生徒の声を直接聞ける時間・場面を設定する等、実施内容の吟味、検討が求められる。

2 重点的な評価

(1) 確かな学力の向上

子どもの学力の傾向を把握し、課題を捉えることを目的とした「全国学力・学習状況調査」への継続的な参加、さらに調査結果の分析を整理し、学習指導資料『音更町の学力の傾向と改善のポイント』を毎年作成していることは評価に値する。

小学校では3年間の経年比較において、「昨年度までに受けた授業のはじめに、目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか」という質問において、過去2年間の割合から大きくポイントが高くなってしまっており、「学校に行くのが、楽しいと思いますか」という質問において、「楽しい」と回答する児童の割合が徐々に増加していることから、授業改善や学校環境の整備等の成果が伺える。一方、「国語A・B」、「算数A・B」全ての教科で全国・全道を下回っていること、「算数A」については昨年度に比べ改善が見られるものの「算数B」の正答率の低さ、「国語B」、「算数B」における無解答の多さという課題点に対し、今後は調査結果を踏まえた授業内容の見直しや習熟度に応じた授業外での補助的な学習を行う等の対策が求められる。

中学校では「昨年度までに受けた授業のはじめに、目標（めあて・ねらい）が示さ

れていたと思いますか」について「いた」と回答する生徒の割合が高くなっています。平成26年のデータと比べ10ポイント以上上昇し、全国・全道を上回る結果となっています。また、「昨年度までに受けた授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか」についても、「いた」と回答している割合が3年間増加し続けており、大幅な授業改善の成果が結果に反映されたものと推測される。加えて、「国語A・B」、「数学A・B」全教科の正答率が全道の結果を上回っていること、全国の結果との比較においても同等かそれ以上の結果が認められ大いに評価できる。一方、「国語A」の漢字の書き取りが全国よりも「かなり下回る結果」との記載があり、明らかとなった課題への対応が不可欠である。

その他、35人を超える学級を有する小学校に対して、平成28年度は町費用負担の臨時教諭5名の配置、特別に配慮を要する児童に対する補充的な学習サポート、長期休業中の学習支援、教職員の資質向上を図るために研修の充実、家庭教育の充実のための工夫等も行われており、今後も教育委員会や学校、家庭や地域との連携を通じ、児童生徒の学力向上のための取り組みを行って頂きたい。

(2) 健やかな体の育成

「全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果北海道版結果報告書」を参考に分析・考察された『音更町の子どもの体力と今後の取組～体力向上の運動例とともに～』は昨年度に比べ読みやすく編集されており、平成28年度版は改善されていることがわかる。「運動習慣等にかかる質問紙調査結果の分析と考察」において、対象学年である小学生（5年生）と中学生（2年生）との比較から、学年が上がると「家の人からの運動のすすめ」、「運動部に入っている」の項目で減少が見られる。一方で、中学生は男女ともに全国平均・全道平均を上回り「体育（保健体育）の授業は楽しい」と回答しており、生徒にとって、保健体育の授業が運動に取り組むまでの重要な機会となっている可能性が高いことから、今後も結果を踏まえた授業展開を期待したい。学力と同様に「体力は「生きる力」の重要な要素の一つ」であり、体力・運動能力も町民の関心の高い項目と考えられるため、調査結果の分析・考察を踏まえた児童生徒の体力・運動能力の向上を推進頂きたい。

教育委員会や学校の取り組みの中で、食に関する指導の充実が図られており、音更産食材を使用した「おとづけ給食」等は、食を通じて地域の生産者と児童生徒が交流できる機会ともなっている。健やかな体の育成の観点で地産地消や食育の推進は重要であることから、今後も継続して取り組んで頂きたい。また、食育の推進等により、望ましい食習慣を身につけ健康的な生活習慣を形成するためには、学校生活だけでなく、家庭との情報共有等の連携した取り組みは必須であろう。

(3) 豊かな心の育成

「音更町いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ・不登校への取り組みが行われて

いるが、いじめに関するアンケート調査結果で「4月以降にいじめられたことがある」と回答した小学生が217件、中学生では18件。また、「いじめは今も続いている」と回答した小学生の事例が65件、中学生では2件あり、教育相談により多数の事例は解消されていると報告されているものの、SNSを介したトラブル、ネットいじめ等日常の学校教育の場面だけでは気づきにくい事例もある。早期発見・対応等については、携帯電話やスマートフォンの適切な使用方法等指導の機会を増やすだけでなく、家庭での目配りやルールづくり等保護者の協力も不可欠である。

また、不登校の状況として平成28年度は小学校が13名、中学校が68名となつておおり、前年度と比べ前者は5名、後者は15名の増加が見られる。また、「相談等を受けずに不登校が長期間続いている児童生徒もいる」との記載からは、課題の硬直化・複雑化が伺える。このため、児童生徒の個々のリズムに合わせた中・長期的な支援の見直しや働きかけの工夫、担任が一人で抱え込むことにならないような学内体制の整備、学校教育相談員や関係機関等への相談・連携等を行う必要がある。なお、心の教室相談員が在中していると登校できる等の事例もあることから、登校のきっかけづくり、校内での別室学習や適応指導教室（ふれあい教室）の通級等、児童・生徒が安心して学ぶことのできる環境を整えること、児童生徒の状況に応じた柔軟な支援体制の強化に加え、関係する教職員や相談員のバーンアウト防止のためのサポート体制の充実にも取り組まれたい。

3 教育行政推進における主要な施策の実施状況

（1）文教対策

「就学援助」については、対象者の認定基準倍率を上げ73人増、支給額が約480万円増となっている。就学困難な児童生徒に対しての経費負担の軽減については引き続き実施頂きたい。なお、「奨学資金」についても、上記と同様にニーズに応じた継続的な援助を行って頂きたい。

「教育施設の整備」については、学校施設の石綿対策として、平成26年の石綿障害予防規則の一部改正に伴って調査が行われ、平成28年度には4校5本の煙突の改修工事が実施されたことを評価したい。しなしながら、改修工事以前までは、児童生徒の学校生活の場にアスベストを含有する建造物が存在していたことからも、今後は児童生徒の健康や安全を考え、既存施設の改修や保全に努められたい。

（2）社会教育の振興

「青少年教育事業」について、こども姉妹町視察研修における小学生の相互交流事業が行われており、平成28年度については27名が参加している。参加者には障害（肢体不自由）のある児童が含まれており、学級担任教諭のサポートを受け無事に研修を終えたと報告されている。このように、児童の豊かな学びや体験に留まらず、挑

戦する力や支えあう力の醸成等にもつながっているように見受けられ、評価できる事業がある一方、町内全児童に対するこども会の構成率が5割を切っていること、こども会の休会が続いていること、共働き世帯の増加によりこども会の世話人の確保が困難になっている状況等からも、報告書の指摘の通り、児童生徒や家庭の実情に応じた「抜本的改革」が急がれる。

「青少年対策」について、平成28年度新規事業である放課後子ども教室は、町内小学校4校において72回開催されており、延べ1700人を超える児童の参加実績が見られた。放課後に自校の施設を使用できること、子どもや保護者の生活実態に合致していることが、結果として多くの児童の参加につながったものと考えられる。なお、口頭にて、本事業の参加児童が多数であるが故に一室内に密集している状況にあること、実施内容やその質に関する課題があること等について補足説明がなされたことから、次年度以降は今年度の実績や課題を踏まえ、本来の目的である安全・安心な「子どもの居場所づくり」を推進して頂きたい。加えて、このような状況に応じて、専門スタッフや見守りサポーターの配置等マンパワーの確保が必須であろう。

「文化・芸術事業」については、平成28年度の文化センター舞台機構更新工事に伴う一部休館により利用人数は約2700名減少したものの、住民からの好評を博したとの報告がなされた開館30周年の記念事業が開催されており、今後も芸術文化の奨励と向上に努められたい。

「図書、視聴覚の振興」については、図書の貸し出し状況において、小学生の貸し出し数が増加しており、移動文庫や学級文庫等の取り組みの効果が見受けられる。加えて、除籍資料を活用した古本市等のイベントの開催、平成28年度の新規事業の「リーディングスタート」事業等の取り組みは評価できる。今後も手軽に読書ができる環境づくりを図り、幅広い年齢層の読書活動を推進して頂きたい。

(3) 社会体育の振興

「体力づくり、健康づくりの振興」や「施設利用状況」について、平成28年度はすずらん駅伝小学生大会兼健康マラソン大会の中止、河川敷地にある屋外施設の使用不可等、台風被災に関連する事項が見受けられた。スポーツ教室では昨年度と比べ参加人数が全体で22%増加しており、今後も地域住民の健康維持・増進、体力づくりを促進して頂きたい。

北十勝退職校長・教頭会 松村 典博

1 総合的な評価について

本町教育の2本の柱である「子どもの教育」と「生涯学習」を充実・発展させるために、「教育行政執行方針」や「音更町第七次社会教育中期計画書」などの教育行政の基本的な方針や施策の計画に基づき、管理・運営や各施策が適切に実施されており、それらの目標や目的が概ね到達しているものと思われる。

今後とも、課内での相互協力・相互チェック体制や他の課との連携を強化するなど教育委員会の組織としてのチーム力をあげるとともに、検証改善サイクルに努め、業務・施策のより効果的な推進を図って頂きたい。

2 教育委員会の活動状況

教育委員会として、年度ごとに業務・施策について点検と自己評価を適切に実施され、その後の業務・施策の推進や充実に生かされているものと思われる。

教育委員会の会議は法律や規則に基づき、議案・資料の事前説明や委員相互の意見交換の設定など月1回の会議の充実と活発化を図るための努力・工夫をしており、評価できる。

学校訪問については年1回全小・中学校を訪問し、校長・教頭との意見交換や授業参観を行い、学校の実態や課題の把握に努めるとともに、学校改善のための施策推進に活用されているものと思われる。今後とも、これからの中の教育の動向を見据えた重点課題を設定したり、主幹教諭、教務主任、養護教諭等との意見交流をしたりするなど、学校訪問の内容の充実を図って頂きたい。

3 重点的な評価

児童・生徒の「生きる力」の状況については、「音更町の学力の傾向と改善のポイント」、「音更町の子どもの体力と今後の取組」などの資料、「いじめに関するアンケート調査」から実態と課題を把握することができ、その取組に敬意を表する。

今後とも、これらの調査を継続し、成果・課題の分析や改善に向けた実践例を掲載する等、調査資料の工夫・改善を図るとともに、広報誌やホームページを活用して町民がよりわかりやすい情報の提供に努めて頂きたい。

(1) 確かな学力の向上

中学生の学力は「全教科について、全道・全国と同等またはそれ以上の結果であり、特に、数学Aでは大きく伸びている」という状況である。このような好結果は学校・家庭（生徒）の努力の成果であり、教育委員会が意図的・計画的に取り組んできた教育環境の整備や人的支援等の施策が表れたものと思われる。

小学生の学力は「全教科について、全道・全国を下回っており、特に算数Bは差が大きく、無解答が多い」という状況であり、「1時間以上勉強する割合は全国との差が

きい」という現状と課題が報告されている。

これらの課題を改善するために各学校におけるカリキュラム・マネジメントの確立や「分かる授業」を目指した授業改善の方策について指導・助言をして頂くとともに、PC教室の充実や実物投影機の計画的な設置など学びの環境の整備を推進して頂きたい。

今後とも、学習支援員や臨時教員の配置によるT・T指導や習熟度別指導の充実を図るとともに、学校と家庭（PTA）が連携しながら「家庭学習のすすめ」や「家庭学習の手引き」の啓蒙・啓発を推進し、「学習や読書の習慣化」を図ることが重要と思われる。

学習への興味・関心・態度を育むためには、幼保・小・中の接続性を重視し、発達段階に応じた学習の規律（常規）や「聞く・話す」など学び方の基礎・基本について研究協議（実践交流）をする場や機会を検討して頂きたい。

（2） 健やかな体の育成

小学生の体力は男子が全道平均と同程度で女子が下回っており、「敏捷性」や「全身持久力」の領域に課題であり、中学生の体力は男女とも全道平均を上回るが、「敏捷性」や「スピード」に課題がある。また、体力・運動能力の高い児童・生徒と低い子との格差が広がっていると思われる。

これらの実態や課題に基づき、体育（保健）の「年間指導計画」の見直しや授業改善について指導・助言するとともに、1人1人の児童・生徒の体力・運動能力の発達の状況を把握するために「新体力テスト」の対象学年の拡充を検討して頂きたい。

家庭における「早寝・早起き・朝ごはん」の実施状況や運動に関する状況を調査し、学校・PTAと連携した実践交流や情報提供を推進することによって、生活習慣や運動習慣の改善を通じた体力・運動能力の向上を図ることが大切であると思われる。

長年の大きな課題であるが、少年団活動や部活動の指導者として多くの教員が携わっているが、教員の長時間労働の解消や教材研究の時間の確保の観点から外部指導者の確保などを検討し、教員の負担軽減を図って頂きたい。

（3） 豊かな心の育成

「音更町いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの未然防止と早期発見・早期解消のために、アンケート調査やハイパーQUアンケートによって実態把握に努めるとともに、教育相談員や心の教室相談員の配置など相談体制の充実を図り、いじめ根絶に向けて様々な施策を推進しており、評価できる。特に、児童・生徒1人1人の心理や学級集団の把握に有効であるハイパーQUアンケートについては、さらなる対象学年の拡充を検討して頂きたい。

学校においては全教育活動を通して、命の大切さや人を思いやる心を育てることが喫緊の課題であるが、特に「特別な教科 道徳」を見据えて、「主体的・対話的で深い

「学び」を目指した授業改善や評価の在り方・方法について指導・助言して頂きたい。

情報機器を使用したいじめ・非行の未然防止を図るために、スマホやSNSの適切な使い方などの情報モラルについて関係機関と連携・協力を得て推進するとともに、学校・PTAと連携して「(仮称) スマホの上手な使い方」を例示するなど家庭への啓蒙・啓発の促進を期待したい。

今後とも、各学校の不登校や休みがちな児童・生徒の実態を把握するとともに、その背景・原因や解決策を探るために、学校・家庭と民生委員・児童委員、適応指導教室(ふれあい教室)そして関係機関との連携を推進して頂きたい。

4 教育行政推進における主要な施策の実施状況

文教対策、社会教育・社会体育の振興については、施設や人的支援の充実や参加者の増加が見られるとともに、高校・大学・各種団体と連携した講座、体験学習を開催するなど、生涯学習社会の実現に向けた取組が推進されており、評価できる。また、「社会教育事業実績報告書」は業務・施策について、その趣旨・参加状況を一覧表や月ごとに記載されており、施策の進捗状況を把握しやすく、町民への説明責任を果たす有効な資料と思われる。

今後とも、推進計画や町民のニーズを十分に配慮しながら、前例踏襲の業務・施策にならないよう、学校、各種団体、民間との情報交流を積極的に進めたり、施策の費用対効果を吟味したりして、業務・施策の工夫・改善に期待したい。

(1) 文教対策

「校内研修実践指定校事業」ではSNS体験(LINE研修)など、教員の資質・能力の向上に寄与しているので今後とも継続・拡充するとともに、校内共同研究の活性化のために研究指定校の設置や外部講師や実践家の招聘などの施策を検討して頂きたい。

おとづけ「教育を考える日」記念フェスタは多くの保護者・教育関係者の参加を得て、幼保・小・中・高・大の教育活動が紹介され、町民の教育への関心を高める機会になっており、評価できる。今後とも、重点課題の「生きる力」の育成について学校・PTA・家庭での取組の状況や課題を交流するような内容も検討して頂きたい。

「開かれた学校づくり」の施策として、学校評議員制度が導入され、情報の提供や学校評価によって学校・家庭・地域の連携が強まっていると思われるが、この制度の実情や課題について検討され、より効果的な運用を期待したい。今年度から駒場中学校をモデルとしたコミュニティ・スクール(学校運営協議会)制度に着手したことに対して敬意を表する。今後とも、地域と一体となって児童・生徒を育む「地域とともに」ある学校づくり」をモデル校の成果と課題を検証し、学校や関係者の理解を得ながら推進して頂きたい。

国際理解教育については英語指導助手を配置して、外国語活動や英語の発音指導な

ど「聞く・話す」指導の充実や町民の生涯学習に活用されているが、小学校の「英語科」を見据えて、英語の授業改善や小学校教諭の英語指導力の向上を目指した施策を期待したい。

(2) 社会教育・社会体育の振興

児童・生徒の安全を守る活動として、青少年対策地区指導員や巡回車による巡回活動や110番の家の設置、不審者情報への迅速な対応などの施策によって、事故・犯罪の抑止効果が伺うことができ、今後も継続して頂きたい。更なる安全性の確保のために、町内会や老人会へ協力を呼びかけるなど地域全体で取り組む施策を検討して頂きたい。

「放課後子ども教室」は児童の自主性や社会性を育み、子どもの居場所づくりを目的として新規に町内4校で開始されたことに敬意を表する。平成31年度までに町内全小学校で開設する目標を設定しているが、実施校での人的・施設的環境についての成果と課題を検討されるとともに、今後の学校教育の動向も見据え、有効かつ適切な子育て支援になるよう期待したい。

すべての子どもたちの読書の習慣化を図るために「音更町子どもの読書活動推進計画」を作成され、大規模小学校の全学級に「学級文庫」を設置したり、「リーディングスタート」を開始したりするなど各年代に応じた様々な施策を実施されており、評価できる。学校図書館の環境整備や利用・促進を図るために、司書教諭、図書館担当者への指導・助言や研修の機会の充実を図ることが大切であると思われる。

台風によって甚大な被害を受けた河川敷地におけるパークゴルフ場、サッカー場などの屋外施設については町民の健康の維持・増進の施設であるので、国・道など関係機関と連絡・調整されて可能な限り早期に復旧することを期待したい。